

e-Gov

申請書／申請データ構造に ついて

目 次

1. 申請書／申請データ構造概要	1-1
1.1. 概要	1-1
1.2. 前提条件.....	1-1
1.3. データ構造	1-2
1.3.1. データ種別	1-2
1.3.2. 申請データ	1-3
1.3.3. 補正データ	1-4
1.3.4. 取下げ依頼データ.....	1-4
1.4. ファイル一覧	1-5
2. 申請データ構造仕様	2-6
2.1. 共通仕様.....	2-6
2.1.1. XML宣言	2-6
2.1.2. XMLスタイルシート宣言	2-6
2.1.3. 終了タグ	2-6
2.1.4. 空要素タグ.....	2-6
2.2. XML文書構造.....	2-7
2.2.1. 構成管理情報ファイル	2-7
2.2.2. 構成情報ファイル.....	2-17
2.2.3. 取下げ依頼情報ファイル	2-25
3. 形式チェックルール定義仕様	3-26
3.1. 形式チェック.....	3-26
3.1.1. 形式チェック内容	3-26
3.1.2. 形式チェックの基本構造.....	3-28
3.1.3. 形式チェックのタグ構成.....	3-30
3.1.4. 形式チェックの記述例	3-39

1. 申請書／申請データ構造概要

1.1. 概要

本書は、電子申請サービスが取り扱う申請書／申請データの文書構造について記載する。

1.2. 前提条件

申請書／申請データの文書構造における前提条件を記載する。

- JIS X 0201に含まれる文字を使用可能とする
- JIS第1水準から第4水準までの漢字を使用可能とする
- JIS第1水準から第4水準までの漢字に含まれる住民基本台帳ネットワークシステム統一文字、戸籍統一文字の範囲で使用可とする(JIS X 0213:2012)
- 申請書／申請データを構成する文字の文字コードは、UTF-8とする
ただし、同一字形に対する文字コードについて、MS-UnicodeとIBM-Unicodeとで差異のある以下の「**表 1-1 使用不可とするIBM-Unicodeの文字**」に示す文字に限り、文字コード変換エラーを回避する観点から、IBM-Unicodeの使用を禁則事項とする

表 1-1 使用不可とするIBM-Unicodeの文字

文字	IBM-Unicode	MS-Unicode
ー(全角ダッシュ)	U+2014	U+2015
～	U+301C	U+FF5E
//	U+2016	U+2225
ー(全角マイナス)	U+2212	U+FF0D
¢	U+00A2	U+FFE0
£	U+00A3	U+FFE1
¬	U+00AC	U+FFE2

1.3. データ構造

1.3.1. データ種別

電子申請サービスが取り扱うデータについて「表 1-2 電子申請サービスが取り扱うデータ」に示す。

表 1-2 電子申請サービスが取り扱うデータ

No	データ名	説明
1	申請データ	行政手続に係る申請・届出事項入力済の様式、添付書類及び署名情報を含むデータ
2	補正データ	申請・届出を行った手続について、内容の不備等を理由に提出先の行政機関からの指示等に基づき、申請者が申請内容の一部を訂正するためのデータ
3	取下げ依頼データ	申請・届出を行った手続について、当該申請データのステータスが審査終了よりも前であり、手続所管行政機関が申請等の取下げを許容する行政手続である場合に申請等の取下げ依頼を行うためのデータ

1.3.2. 申請データ

申請データは、申請・届出の様式数分の申請書様式(申請・届出事項入力済)と複数の添付ファイルと1つの構成管理情報で構成される。なお、電子署名形式により標準形式と個別ファイル署名形式の2種類の構造を持つ。申請データの構造を「図 1-1 申請データのデータ構造(標準形式)」、「図 1-2 申請データのデータ構造(個別ファイル署名形式)」に示す。

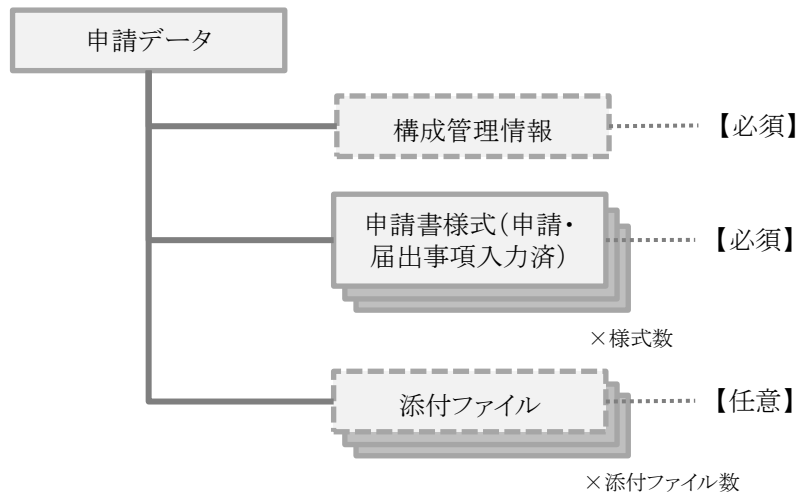


図 1-1 申請データのデータ構造(標準形式)

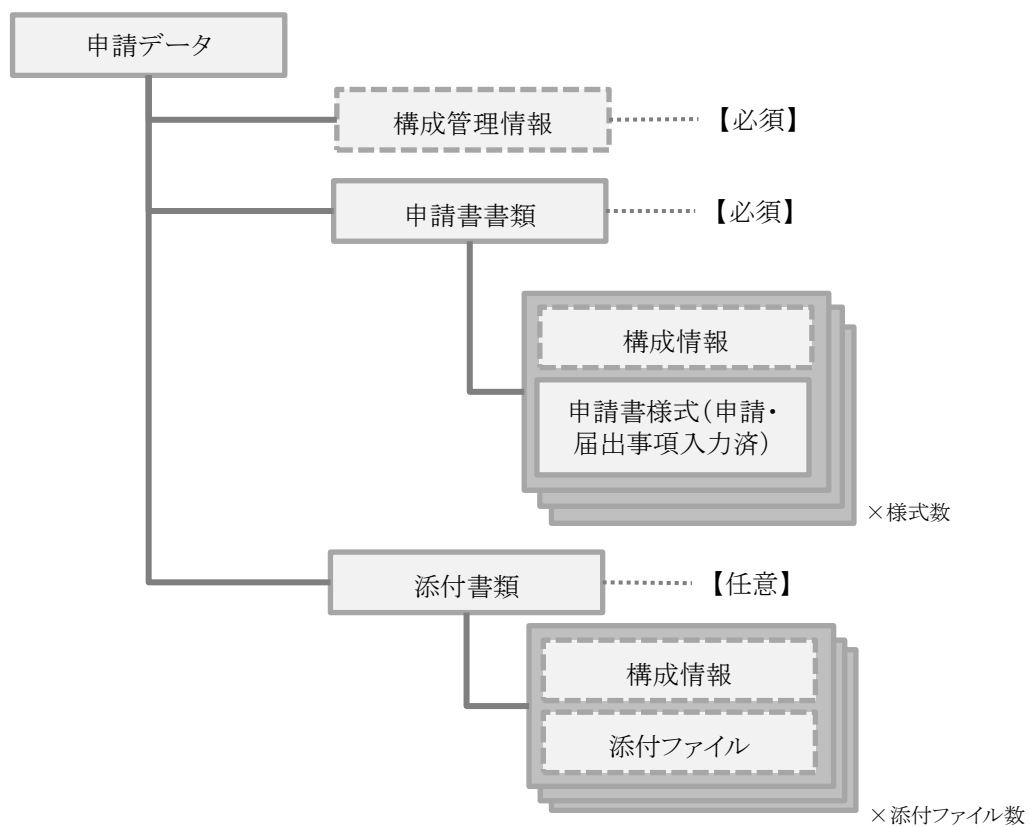
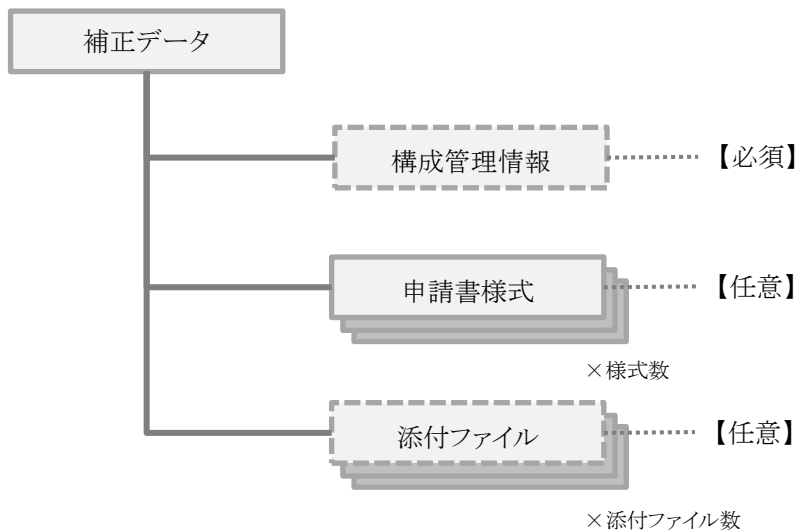


図 1-2 申請データのデータ構造(個別ファイル署名形式)

1.3.3. 補正データ

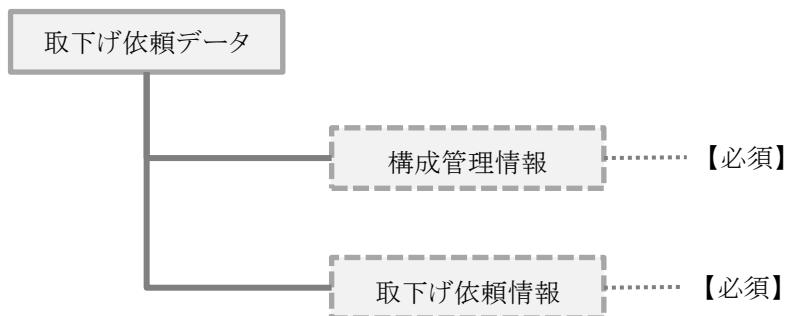
補正データは、申請・届出の様式数分の申請書様式と複数の添付ファイルと1つの構成管理情報で構成される。補正データの構造を「[図 1-3 補正データのデータ構造](#)」に示す。



[図 1-3 補正データのデータ構造](#)

1.3.4. 取下げ依頼データ

取下げ依頼データは、構成管理情報、取下げ依頼情報で構成される。取下げ依頼データの構造を「[図 1-4 取下げ依頼データのデータ構造](#)」に示す。



[図 1-4 取下げ依頼データのデータ構造](#)

1 申請書／申請データ構造概要

1.4 ファイル一覧

電子申請サービスが取り扱うデータを構成するファイル一覧を「表 1-3 電子申請サービスが取り扱うデータを構成するファイル一覧」に示す。

表 1-3 電子申請サービスが取り扱うデータを構成するファイル一覧

No	ファイル名	説明	命名規則	形式 [文字コード]	情報作成の 責任所在
1	申請書XML	電子申請サービス対象手続に係る申請届出事項を定義したファイル	‘様式 ID(半角英数字 18桁)’ + ‘_01’.xml	XML[UTF-8]	電子申請連携省庁
2	形式チェックルール	申請届出事項に係る妥当性規則を記述したファイル	‘様式ID(半角英数字18桁)’ + ‘check’.xml	XML[UTF-8]	電子申請連携省庁
3	構成管理情報	各構成要素を管理するための管理情報、属性情報及び署名情報を格納し、申請書に含まれない利用者の情報や他のファイルの関連情報を管理するものとして定義したファイル	kousei.xml	XML[UTF-8]	e-Gov
4	構成情報	申請データ(個別ファイル署名形式)の場合に、申請書類、添付書類ごとに管理情報、属性情報及び署名情報を格納したファイル	‘kousei’ + yyyyMMddHHmmssSSS + ‘.xml’	XML[UTF-8]	e-Gov
5	取下げ依頼情報	申請者が取下げ依頼を行うときに、申請案件の情報を定義したファイル	torisageirai.xml	XML[UTF-8]	e-Gov

※様式記入要領は、任意とするが一般的に利用頻度の高いファイル形式(Excel、Word、PDF等)での登録を原則とし、特別なソフトウェアを必要とするファイル形式は使用しない方針とする

2. 申請データ構造仕様

2.1. 共通仕様

e-Govで取り扱うすべてのXMLファイルについて、共通仕様を示す。e-Govでは整形形式で記述されたXMLを採用する。

2.1.1. XML宣言

XML宣言の記載について、以下に示す。

表 2-1 XML宣言

記述仕様	項目説明
<code><?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?></code>	XML 宣言

2.1.2. XMLスタイルシート宣言

XMLスタイルシート宣言の記載について、以下に示す。

表 2-2 XMLスタイルシート宣言

記述仕様	項目説明
<code><?xml-stylesheet href="スタイルシートのファイル名" type="text/xsl"?></code>	スタイルシートの参照先

2.1.3. 終了タグ

終了タグの記載について、以下に示す。

表 2-3 終了タグの記載方法

記述仕様	項目説明
<code></aaa></code>	終了タグ

2.1.4. 空要素タグ

空要素タグの記載について、以下に示す。

表 2-4 空要素タグの記載方法

記述仕様	項目説明
<code><aaa></aaa></code> または <code><aaa/></code>	空要素タグ

2.2. XML文書構造

2.2.1. 構成管理情報ファイル

構成管理情報ファイルのタグ構成および記述例を記載する。

(1) 構成管理情報のタグ構成

構成管理情報のタグ構成を以下に示す。

表 2-5 構成管理情報のタグ構成

項目	内容	出現回数	必須項目	フォーマット
DataRoot	構成管理情報XMLのルート	1	—	—
様式ID	構成管理情報の固有番号	1	●	文字種:半角英数字 最大18文字
様式バージョン	構成管理情報の版数	1	●	文字種:半角数字 フォーマット:NNNN ex)0001
STYLESHEET	スタイルシートのファイル名	1	●	文字種:半角 最大256文字 フォーマット:ファイル.xml (ファイルパスは含めない)
構成情報	構成管理情報の構成情報	1	—	以下の属性を指定する。 ・属性名:ID 値:"構成情報"
管理情報	構成管理属性情報	1	—	—
手続番号	手続を特定するための情報	1	—	—
受付行政機関ID	申請の提出先の行政機関に対して一意に振られる番号	1	●	文字種:半角数字 最大256文字 フォーマット:100GGG 100:固定文字 GGG:国の機関OSI オブジェクト登録組織番号
手続ID	行政手続所管省庁または担当省庁が当該手続に対して一意に付与した番号	1	●	文字種:半角英数字 最大16文字
手続名称	手続の名称	1	●	文字種:全角 最大1024文字
初回受付番号	原申請(補正対象となる申請)の到達番号 (補正対応により申請書を再提出する場合のみ)	1	▲	文字種:半角英数字 最大18文字
申請種別	新規申請、補正等の種別	1	●	文字種:全角 最大20文字 フォーマット: 新規申請、連名申請、部分補正、再提出のいずれかが設定される。
申請者連絡先情報	申請者と連絡先の情報	1以上 99以下	—	—
申請者情報	利用者に関する情報	1	—	—
氏名	利用者の氏名	1	●	文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
氏名フリガナ	利用者氏名のフリガナ	1	●	文字種:全角 最大256文字
役職	利用者の役職	1		文字種:全角 最大256文字
法人団体名	利用者の法人団体名称	1		文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
法人団体名フリガ	利用者法人団体名称のフリ	1		文字種:全角 最大256文字

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目				内容	出現回数	必須項目	フォーマット
				ナ	ガナ		
				部門名	利用者の所属部門名	1	文字種:全角 最大256文字
				部門名フリガナ	利用者所属部門名のフリガナ	1	文字種:全角 最大256文字
				郵便番号	利用者所在地の郵便番号	1	● 文字種:「-(ハイフン)」を除く7桁の半角数字 日本国外の住所の場合:0000000
				住所	利用者所在地	1	● 文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
				住所フリガナ	利用者所在地のフリガナ	1	● 文字種:全角 最大256文字
				電話番号	利用者の電話番号	1	● 文字種:半角 最大256文字
				FAX番号	利用者のFAX番号	1	文字種:半角 最大256文字
				電子メールアドレス	利用者の電子メールアドレス	1	文字種:半角 最大128文字
				連絡先情報	連絡先担当者に関する情報	1	— —
				氏名	連絡先担当者の氏名	1	● 文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
				氏名フリガナ	連絡先担当者氏名のフリガナ	1	● 文字種:全角 最大256文字
				役職	連絡先担当者の役職	1	文字種:全角 最大256文字
				法人団体名	連絡先担当者の法人団体名称	1	文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
				法人団体名フリガナ	連絡先担当者法人団体名称のフリガナ	1	文字種:全角 最大256文字
				部門名	連絡先担当者の所属部門名	1	文字種:全角 最大256文字
				部門名フリガナ	連絡先担当者所属部門名のフリガナ	1	文字種:全角 最大256文字
				郵便番号	連絡先担当者所在地の郵便番号	1	● 文字種:「-(ハイフン)」を除く7桁の半角数字 日本国外の住所の場合:0000000
				住所	連絡先担当者所在地	1	● 文字種:全角 最大256文字 府省システムごとに指定された符号化文字集合のみから連絡先情報及び申請者情報が構成されていること。
				住所フリガナ	連絡先担当者所在地のフリガナ	1	● 文字種:全角 最大256文字
				電話番号	連絡先担当者の電話番号	1	● 文字種:半角 最大256文字
				FAX番号	連絡先担当者のFAX番号	1	文字種:半角 最大256文字
				電子メールアドレス	連絡先担当者の電子メールアドレス	1	● 文字種:半角 最大128文字
				委任登録票添付情報	委任登録票の添付情報	1	未使用のため空タグを設定。
				発行番号	代理人用の発行番号	1	
				委任登録票名称	委任登録票の名称	1	
				委任登録票ファイル名称	委任登録票のファイル名称	1	
				添付書類属性情報	添付書類属性情報	0以上 99以下	— 申請データ(標準形式)の場合。 申請データ(個別ファイル署名形式)の場合、出現回数は最大396回になる。「添付書類属性情報タグの出現回数について」

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目	内容	出現回数	必須項目	フォーマット
				を参照。
添付種別	添付書類に関する添付方法の種別	1	●	文字種:全角半角 最大3文字 フォーマット: 添付、別送、URLのいずれか
添付書類名称	添付書類の名称	1	●	文字種:全角半角 最大256文字
添付書類ファイル名称	添付書類のファイル名、又はURL	1	●	文字種:全角半角 最大256文字 フォーマット:ファイル名、又はURL 添付種別が別送のとき空タグとなる
提出情報	添付書類を提出するかどうかを識別する情報	1		文字種:半角数字 最大1文字 フォーマット: 提出チェック有り 1 提出チェック無し 0
手数料情報	手数料等の情報	1	—	納付種別が前納の場合は設定が必要。 随納/後納、なしの場合は手数料情報配下に対して全て空タグを設定する。
手数料1		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字
略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
手数料2		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字
略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
手数料3		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字
略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
手数料4		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字
略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
手数料5		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字
略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
手数料6		1	—	—
手数料識別子	手数料情報を一意に識別する為の番号	1		文字種:半角英数字 最大15文字
略科目コード	手数料等の種別(登録免許税や手数料等)	1		文字種:半角数字 最大5文字

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目			内容	出現回数	必須項目	フォーマット
		略科目名	手数料等の種別名	1		文字種:全角 最大128文字
		振込金額	振込金額	1		文字種:半角数字 最大11文字
		通信欄	申請者が入力した通信欄	1		文字種:全角 最大1024文字 部分補正時以外は空タグとなる
		府省照会情報	府省照会情報 ID、パスワード等府省側で管理している項目との照合に使用する情報	1	—	府省照会情報がない場合は全て空タグを設定する。
		府省照会1		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会2		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会3		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会4		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会5		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会6		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会7		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会8		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会9		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		府省照会10		1	—	—
		府省照会情報ラベル		1		
		府省照会情報		1		
		提出先情報	提出先情報	1	—	—
		提出先識別子	提出先となる原局(原課)の識別子	1		指定された提出先の最下層の提出先識別子を設定する。
		提出先名称	提出先となる原局(原課)の名称	1		提出先名称は、大分類、中分類、小分類の3種類の分類があり、大分類から順にカンマで繋ぎ設定する。
		申請書属性情報	申請書属性情報	0以上 99以下	—	—
		申請書様式ID	様式ごとに一意に割り振られたID	1	●	文字種:半角英数字 18文字固定
		申請書様式バージョン	様式ごとに一意に割り振られたバージョン	1	●	文字種:半角数字 フォーマット:NNNN ex)0001
		申請書様式名称	申請書様式の名称	1	●	文字種:全角 最大128文字
		申請書ファイル名称	申請書のファイル名	1	●	文字種:半角 最大256文字 フォーマット:ファイル名のみ
	署名情報		電子署名に関する情報	0以上	—	—

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目	内容	出現回数	必須項目	フォーマット
		99以下		
Signature	XML署名要素	1以上 99以下		以下の2つの属性を指定する。 (1)xmlns 値: "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" (2)Id 値:署名付与を行った日時 (フォーマット:yyyyMMddHHmmss)
SignedInfo	署名情報要素	1	-	-
CanonicalizationMethod	署名対象正規化アルゴリズム要素	1		以下の属性を指定する。Algorithm 値:"http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"
SignatureMethod	署名アルゴリズム要素	1		
Reference	参照要素 (URIは署名対象の識別子)	2以上	-	属性名:URI 値: "##E6%A7%8B%E6%88%90%E6%83%85%E5%A0%B1" ※"構成情報"をエスケープ処理した文字列
Transforms	正規化変換処理	0以上 1以下	-	
Transform	正規化変換処理要素	1		属性名:Algorithm 値: "http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"
DigestMethod	ダイジェストアルゴリズム要素	1		属性名:Algorithm 値: "http://www.w3.org/2001/04/xmenc#sha256"
DigestValue	ダイジェスト値要素	1		DigestMethodに指定したアルゴリズムで算出したダイジェスト値を設定
SignatureValue	署名値要素	1		SignatureMethodタグの属性で指定したアルゴリズムで生成された署名値を設定 署名値の生成対象:SignedInfoエレメント
KeyInfo	署名付与に使用した証明書情報要素	1	-	-
X509Data	X.509証明書要素	1	-	-
X509Certificate	証明書要素	1以上		署名付与に使用した証明書のBase64エンコード値を設定。途中で改行する場合は76文字ごとに改行
その他		1	-	納付種別が前納の場合は設定が必要。随納/後納、なしの場合は納付関連情報配下に対して空タグを設定する。
納付関連情報		1	-	-
納付方法	納付方法に関する情報	1		文字種:半角数字 最大1文字 フォーマット: 電子納付 1 印紙・現金納付 2
振込者氏名カナ	振込者氏名のカナ	1		文字種:全角 最大24文字
法人番号	法人に対し国税庁が指定する識別番号	1		文字種:半角数字 最大13文字

●:必須項目 ▲:補正再提出時の申請データとして必ず値を持つ項目

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

※ 手続に依存する固有情報は構成管理情報 XML に含めない。

※ 構成管理情報の署名対象は構成情報タグとし、その他タグは署名対象に含めない。

ア. 添付書類属性情報タグの出現回数について

通常、1件の申請データに含めることができる添付書類数は99までとなるため、申請データ(標準形式)の構成管理情報に含まれる添付書類属性情報タグの出現回数は最大99回となる。

一方、申請データ(個別ファイル署名形式)の構成管理情報の場合、1件の申請データに含めることができる添付書類数は99までとの取扱に差異はないが、個別ファイル署名形式の申請データ構造に由来し、業務上意味を持つ書類等の数と、添付書類属性情報タグの出現回数との間に取扱上の差異を必要とする仕様制約が存在する。

e-Gov電子申請では、申請書様式、添付書類それぞれに対する個別の署名付与を可能とするため、申請書書類及び添付書類に含まれる各ファイル(構成情報、申請書様式(申請・届出事項入力済)及び添付書類)を全て「添付ファイル」として扱い、構成管理情報へ記述する仕様としている。このため、申請データ(個別ファイル署名形式)の構成管理情報に出現する添付書類属性情報タグの回数は、以下の書類数を合計した396回となる。

① 申請書書類((申請書様式+構成情報)×99 → 最大198ファイル)

② 添付書類((添付書類+構成情報)×99 → 最大198ファイル)

個別ファイル署名形式の手続データを扱う場合、本件仕様制約に留意すること。

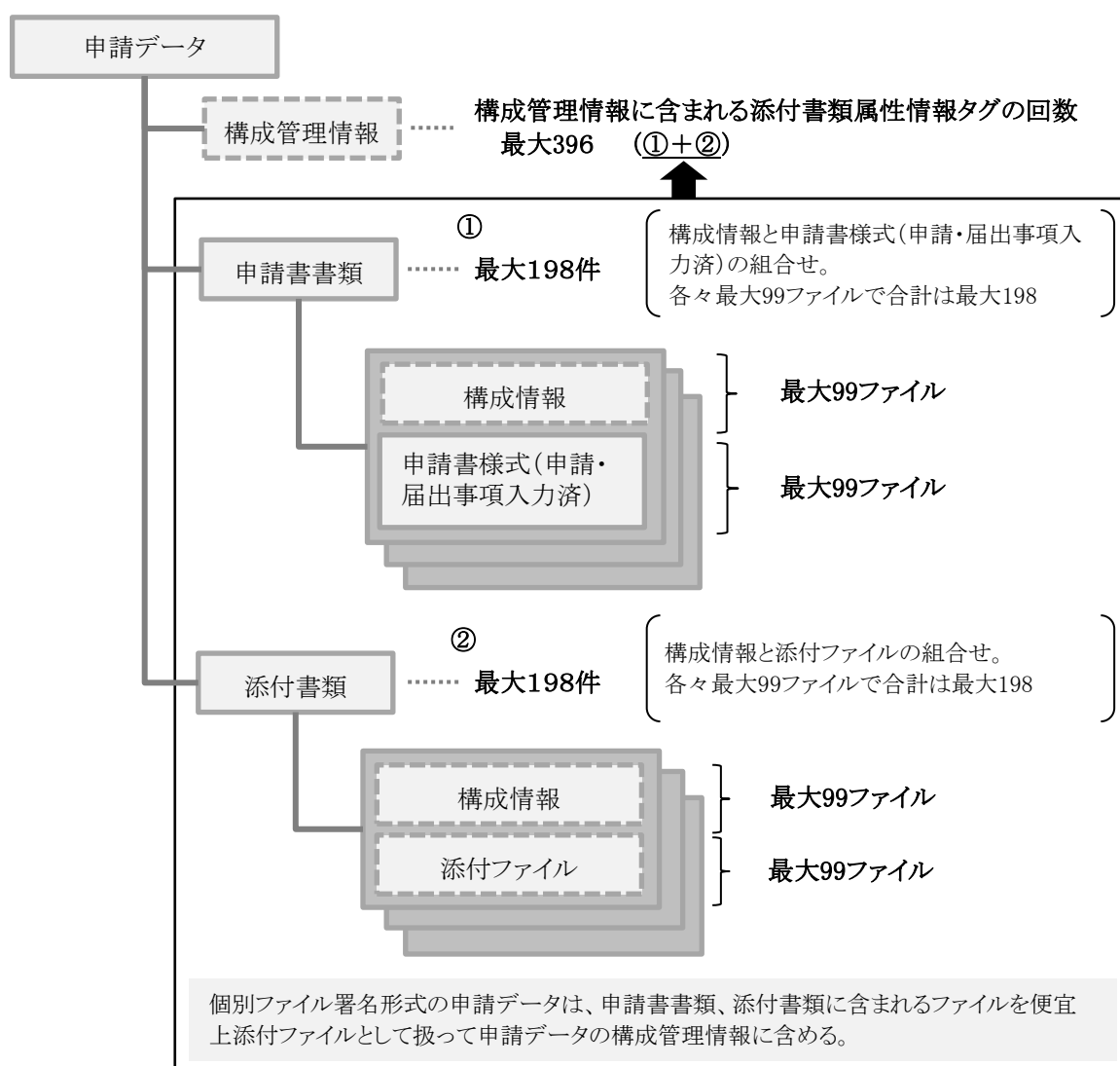


図 2-1 個別ファイル署名形式に含まれる添付書類属性情報タグの回数

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

(2) 構成管理情報の記述例

申請データをkousei.xml、900XXXXXX001000101_01.xmlにより構成し、これに対して署名付与した場合の記述例について、以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<?xml-stylesheet href="99900000000000000001.xml" type="text/xml"?>
<DataRoot>
  <様式ID>99900000000000000001</様式ID>
  <様式バージョン>0001</様式バージョン>
  <STYLESHEET>99900000000000000001.xml</STYLESHEET>
  <構成情報 ID="構成情報">
    <管理情報>
      <手続番号>
        <受付行政機関ID>100900</受付行政機関ID>
        <手続ID>900XXXXXX0010001</手続ID>
      </手続番号>
      <手続名称>XXXXXXX手続／電子申請</手続名称>
      <初回受付番号/>
      <申請種別>新規申請</申請種別>
      <申請者連絡先情報>
        <申請者情報>
          <氏名>テスト 太郎</氏名>
          <氏名フリガナ>テスト タロウ</氏名フリガナ>
          <役職/>
          <法人団体名/>
          <法人団体名フリガナ/>
          <部門名/>
          <部門名フリガナ/>
          <郵便番号>1008926</郵便番号>
          <住所>東京都千代田区</住所>
          <住所フリガナ>トウキョウトチヨダク</住所フリガナ>
          <電話番号>012-345-6789</電話番号>
          <FAX番号/>
          <電子メールアドレス>aaa@aa.jp</電子メールアドレス>
        </申請者情報>
        <連絡先情報>
          <氏名>テスト 次郎</氏名>
          <氏名フリガナ>テスト ジロウ</氏名フリガナ>
          <役職/>
          <法人団体名/>
          <法人団体名フリガナ/>
          <部門名/>
          <部門名フリガナ/>
          <郵便番号>1008926</郵便番号>
          <住所>東京都千代田区</住所>
          <住所フリガナ>トウキョウトチヨダク</住所フリガナ>
          <電話番号>012-345-6789</電話番号>
          <FAX番号/>
          <電子メールアドレス>aaa@aa.jp</電子メールアドレス>
        </連絡先情報>
        <委任登録票添付情報>
          <発行番号/>
          <委任登録票名称/>
          <委任登録票ファイル名称/>
        </委任登録票添付情報>
      </申請者連絡先情報>
    </管理情報>
    <添付書類属性情報>
      <添付種別>別送</添付種別>
      <添付書類名称>添付ファイル1</添付書類名称>
      <添付書類ファイル名称/>
      <提出情報>1</提出情報>
    </添付書類属性情報>
  </構成情報>
</DataRoot>
```

図 2-2 構成管理情報XMLの記述例(1/3)

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

```
<手数料情報>
  <手数料1>
    <手数料識別子>900XXXXX001000101</手数料識別子>
    <略科目コード>00001</略科目コード>
    <略科目名/>
    <振込金額>100</振込金額>
  </手数料1>
  <手数料2>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料2>
  <手数料3>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料3>
  <手数料4>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料4>
  <手数料5>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料5>
  <手数料6>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料6>
</手数料情報>
<通信欄/>
<府省照会情報>
  <府省照会1>
    <府省照会情報ラベル>ラベル1</府省照会情報ラベル>
    <府省照会情報>1</府省照会情報>
  </府省照会1>
  <府省照会2>
    <府省照会情報ラベル>ラベル2</府省照会情報ラベル>
    <府省照会情報>1</府省照会情報>
  </府省照会2>
  <府省照会3>
    <府省照会情報ラベル>ラベル3</府省照会情報ラベル>
    <府省照会情報>1</府省照会情報>
  </府省照会3>
  <府省照会4>
    <府省照会情報ラベル>ラベル4</府省照会情報ラベル>
    <府省照会情報>1</府省照会情報>
  </府省照会4>
```

図 2-3 構成管理情報XMLの記述例(2/3)

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

```
<府省照会5>
  <府省照会情報ラベル>ラベル5</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会5>
<府省照会6>
  <府省照会情報ラベル>ラベル6</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会6>
<府省照会7>
  <府省照会情報ラベル>ラベル7</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会7>
<府省照会8>
  <府省照会情報ラベル>ラベル8</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会8>
<府省照会9>
  <府省照会情報ラベル>ラベル9</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会9>
<府省照会10>
  <府省照会情報ラベル>ラベル10</府省照会情報ラベル>
  <府省照会情報>1</府省照会情報>
</府省照会10>
</府省照会情報>
<提出先情報>
  <提出先識別子>900XXXXX00000000000111</提出先識別子>
  <提出先名称>一括転送用部署(第一階層)A,一括転送用部署(第二階層)A,一括転送用部署(第三階層)A</提出先名称>
</提出先情報>
<申請書属性情報><申請書様式ID>900XXXXX001000101</申請書様式ID>
<申請書様式バージョン>0001</申請書様式バージョン>
<申請書様式名称>一括申請用申請書</申請書様式名称>
<申請書ファイル名称>900XXXXX001000101_01.xml</申請書ファイル名称>
</申請書属性情報>
</構成情報>
<署名情報><Signature Id="20180907172237" xmlns="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"><SignedInfo>
  <CanonicalizationMethod Algorithm="http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"/>
  <SignatureMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#rsa-sha256"/>
  <Reference URI="#E6%A7%8B%E6%88%90%E6%83%85%E5%A0%B1">
    <Transforms>
      <Transform Algorithm="http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"/>
    </Transforms>
    <DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#sha256"/>
    <DigestValue>[構成管理.xmlのハッシュ値]</DigestValue>
  </Reference>
  <Reference URI="[900XXXXX001000101_01.xmlをエスケープ処理した値]">
    <DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#sha256"/>
    <DigestValue>[900XXXXX001000101_01.xmlのハッシュ値]</DigestValue>
  </Reference>
</SignedInfo>
<SignatureValue>[署名値]</SignatureValue>
<KeyInfo>
  <X509Data>
    <X509Certificate>[署名に使用された証明書のBase64エンコード]
  </X509Certificate>
</X509Data>
</KeyInfo>
</Signature>
</署名情報>
<その他>
  <納付関連情報>
    <納付方法/>
    <振込者氏名カナ/>
  </納付関連情報>
  <法人番号/>
</その他>
</DataRoot>
```

図 2-4 構成管理情報の記述例(3/3)

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

2.2.2. 構成情報ファイル

構成情報は、個別ファイル署名の手続において、申請書類、添付書類ごとに管理情報、属性情報及び署名情報を保持するために利用するファイルである。

(1) 構成情報のタグ構成

構成情報のタグ構成について、以下に示す。

表 2-6 構成情報のタグ構成

項目	内容	出現回数	必須項目	フォーマット
DataRoot	構成管理情報XMLのルート	1	—	—
様式ID	構成管理情報の固有番号	1	●	文字種:半角英数字 最大18文字
様式バージョン	構成管理情報の版数	1	●	文字種:半角数字 フォーマット:NNNN ex)0001
STYLESHEET	スタイルシートのファイル名	1	●	文字種:半角 最大256文字 フォーマット:ファイル名のみ
構成情報	構成管理情報の構成情報	1	—	以下の属性を指定する。 ・属性名:ID 値:”構成情報”
管理情報	構成管理属性情報	1	—	—
手続番号	手続を特定するための情報	1	—	—
受付行政機関ID	行政手続所管省庁または担当省庁が当該手続に対して一意に付与した番号	1	●	文字種:半角数字 最大256文字 フォーマット:100GGG 100:固定文字 GGG:国の機関OSI オブジェクト登録組織番号
手続ID	受付者が当該手続に対して一意に付与した番号	1	●	文字種:半角英数字 最大16文字
手続名称	手続の名称	1	●	文字種:全角 最大1024文字
初回受付番号	原申請(補正対象となる申請)の到達番号 (補正対応により申請書を再提出する場合のみ)	1	—	申請書、添付書類に対する構成情報では使用しないため、空タグを設定する。
申請種別	新規申請、補正等の種別	1	●	文字種:全角 最大6文字 フォーマット:申請書作成、添付書類署名 のいずれかが設定される。
申請者連絡先情報	申請者と連絡先の情報	1	—	申請書、添付書類に対する構成情報では使用しないため、空タグを設定する。
申請者情報	利用者に関する情報	1		
氏名	利用者の氏名	1		
氏名フリガナ	利用者氏名のフリガナ	1		
役職	利用者の役職	1		
法人団体名	利用者の法人団体名称	1		
法人団体名フリガナ	利用者法人団体名称のフリガナ	1		
部門名	利用者の所属部門名	1		
部門名フリガナ	利用者所属部門名のフリガナ	1		
郵便番号	利用者所在地の郵便番号	1		
住所	利用者所在地	1		
住所フリガナ	利用者所在地のフリガナ	1		
電話番号	利用者の電話番号	1		
FAX番号	利用者のFAX番号	1		
電子メールアドレス	利用者の電子メールアドレス	1		
連絡先情報	連絡先担当者に関する情報	1		
氏名	連絡先担当者の氏名	1		

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目					内容	出現回数	必須項目	フォーマット	
			氏名フリガナ	連絡先担当者氏名のフリガナ	1				
			役職	連絡先担当者の役職	1				
			法人団体名	連絡先担当者の法人団体名称	1				
			法人団体名フリガナ	連絡先担当者法人団体名称のフリガナ	1				
			部門名	連絡先担当者の所属部門名	1				
			部門名フリガナ	連絡先担当者所属部門名のフリガナ	1				
			郵便番号	連絡先担当者所在地の郵便番号	1				
			住所	連絡先担当者所在地	1				
			住所フリガナ	連絡先担当者所在地のフリガナ	1				
			電話番号	連絡先担当者の電話番号	1				
			FAX番号	連絡先担当者のFAX番号	1				
			電子メールアドレス	連絡先担当者の電子メールアドレス	1				
		委任登録票添付情報	委任登録票の添付情報	1					
		発行番号	代理人用の発行番号	1					
		委任登録票名称	委任登録票の名称	1					
		委任登録票ファイル名称	委任登録票のファイル名称	1					
	添付書類属性情報				添付書類属性情報	0 または1		—	申請書の場合:タグの設定不要 添付書類の場合:設定必要
	添付種別				添付書類に関する添付方法の種別	1		▲	文字種:全角半角 最大256文字 フォーマット: 添付、別送、URLのいずれかが設定される
	添付書類名称				添付書類の名称	1		▲	文字種:全角半角 最大256文字
	添付書類ファイル名称				添付書類のファイル名、又はURL	1		▲	文字種:全角半角 最大256文字 フォーマット:ファイル名、又はURL 添付種別が別送のとき空タグとなる
	提出情報				添付書類を提出するかどうかを識別する情報	1		▲	文字種:半角数字 最大1文字 フォーマット: 提出チェック有り 1 提出チェック無し 0
	手数料情報				手数料等の情報	1		—	申請書、添付書類に対する構成情報では設定不要のため、空タグを設定する。
	手数料1					1			
	手数料識別子				手数料情報を一意に識別する為の番号	1			
	略科目コード				手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
	略科目名				手数料等の種別名	1			
	振込金額				振込金額	1			
	手数料2					1			
	手数料識別子				手数料情報を一意に識別する為の番号	1			
	略科目コード				手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
	略科目名				手数料等の種別名	1			
	振込金額				振込金額	1			
	手数料3					1			
	手数料識別子				手数料情報を一意	1			

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目				内容	出現 回数	必須 項目	フォーマット		
					に識別する為の番号				
				略科目コード	手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
				略科目名	手数料等の種別名	1			
				振込金額	振込金額	1			
				手数料4		1			
				手数料識別子	手数料情報を一意に 識別する為の番号	1			
				略科目コード	手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
				略科目名	手数料等の種別名	1			
				振込金額	振込金額	1			
				手数料5		1			
				手数料識別子	手数料情報を一意に 識別する為の番号	1			
				略科目コード	手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
				略科目名	手数料等の種別名	1			
				振込金額	振込金額	1			
				手数料6		1			
				手数料識別子	手数料情報を一意に 識別する為の番号	1			
				略科目コード	手数料等の種別 (登録免許税や手数料等)	1			
				略科目名	手数料等の種別名	1			
				振込金額	振込金額	1			
				通信欄	申請者が入力した通信欄	1			空タグを設定する。
				府省照会情報	府省照会情報 ID、パスワード等府省側で管理している項目との照合に使用する情報	1	－		申請書、添付書類に対する構成情報では設定不要のため、空タグを設定する。
				府省照会1		1			
				府省照会情報ラベル		1			
				府省照会情報		1			
				府省照会2		1			
				府省照会情報ラベル		1			
				府省照会情報		1			
				府省照会3		1			
				府省照会情報ラベル		1			
				府省照会情報		1			
				府省照会4		1			
				府省照会情報ラベル		1			
府省照会情報		1							
府省照会5		1							
府省照会情報ラベル		1							
府省照会情報		1							
府省照会6		1							
府省照会情報ラベル		1							
府省照会情報		1							

空タグを設定する。
申請書、添付書類に対する構成情報では設定不要のため、空タグを設定する。

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目			内容	出現回数	必須項目	フォーマット		
		府省照会7		1				
		府省照会 情報ラベル		1				
		府省照会情報		1				
		府省照会8		1				
		府省照会 情報ラベル		1				
		府省照会情報		1				
		府省照会9		1				
		府省照会 情報ラベル		1				
		府省照会情報		1				
		府省照会10		1				
		府省照会 情報ラベル		1				
		府省照会情報		1				
	提出先情報	提出先情報	提出先情報	1	—	申請書、添付書類に対する構成情報では設定不要のため、空タグを設定する。		
		提出先識別子	提出先となる原局(原課)の識別子	1				
		提出先名称	提出先となる原局(原課)の名称	1				
	申請書属性情報	申請書属性情報	申請書属性情報	1	—	申請書の場合:設定必須 添付書類の場合:空タグを設定する。 文字種:半角英数字 最大256文字		
		申請書様式ID	様式ごとに一意に割り振られたID	1	▲		文字種:半角数字 フォーマット:NNNN ex)0001	
		申請書様式バージョン	様式ごとに一意に割り振られたバージョン	1	▲			
		申請書様式名称	申請書様式の名称	1	▲			文字種:全角 最大128文字
		申請書ファイル名称	申請書のファイル名	1	▲			文字種:半角 最大256文字 フォーマット:ファイル名のみ
	署名情報	電子署名に関する情報		0以上 1以下	—	添付書類の場合:署名必須 申請書の場合かつ、最大署名人数の設定が0の場合:タグ設定不要		
		Signature	XML署名要素	1以上 99以下		以下の2つの属性を指定する。 (1)xmlns 値:"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" (2)Id 値:署名付与を行った日時 (フォーマット:yyyyMMddHHmmss)		
		SignedInfo			1	—	以下の属性を指定します。 Algorithm 値:"http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"	
			CanonicalizationMethod	署名対象正規化アルゴリズム要素	1			
			SignatureMethod	署名アルゴリズム要素	1			
			Reference	参照要素 (URIは署名対象の識別子)	1	—		属性名:URI 値: 申請書の場合:申請書ファイル名 添付書類の場合:添付ファイル名 ※ファイル名が日本語の場合は、エスケープ処理した文字列とする。
			Transforms	正規化変換処理	0	—		申請書、添付書類は設定不要
			Transform	正規化変換処理要素	0		属性名:Algorithm 値: "http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-	

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

項目						内容	出現回数	必須項目	フォーマット
									c14n-20010315"
					DigestMethod	ダイジェストアルゴリズム要素	1		属性名:Algorithm 値: "http://www.w3.org/2001/04/xmlenc#sha256"
					DigestValue	ダイジェスト値要素	1		ダイジェスト値の計算対象 申請書の場合:申請書ファイル 添付書類の場合:添付ファイル
					SignatureValue	署名値要素	1		SignatureMethodタグの属性で指定したアルゴリズムで生成された署名値を設定 署名値の生成対象:SignedInfoエレメント
					KeyInfo	署名付与に使用した証明書情報要素	1	—	
					X509Data	X.509証明書要素	1	—	
					X509Certificate	証明書要素	1以上		署名付与に使用した証明書のBase64エンコード値を設定。途中で改行する場合は76文字ごとに改行
					その他		1	—	
					納付関連情報		1		
					納付方法	納付方法に関する情報	1		
振込者氏名カナ	振込者氏名のカナ	1							
法人番号	法人に対し国税庁が指定する識別番号	1							

●:必須項目 ▲:申請書または添付書類のいずれかが必須の項目

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

(2) 構成情報の記述例

個別ファイル署名用申請書に対して個別署名を行った場合の構成情報の記述例について、以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<?xml-stylesheet href="999000000000000009.xsl" type="text/xsl"?>
<DataRoot>
  <様式ID>999000000000000009</様式ID>
  <様式バージョン>0001</様式バージョン>
  <STYLESHEET>999000000000000009.xsl</STYLESHEET>
  <構成情報 ID="構成情報">
    <管理情報>
      <手続番号>
        <受付行政機関ID>100900</受付行政機関ID>
        <手続ID>900AAAAA0011F01</手続ID>
      </手続番号>
      <手続名称>個別ファイル署名用手続／電子申請</手続名称>
      <初回受付番号/>
      <申請種別>申請書作成</申請種別>
      <申請者連絡先情報>
        <申請者情報>
          <氏名/>
          <氏名フリガナ/>
          <役職/>
          <法人団体名/>
          <法人団体名フリガナ/>
          <部門名/>
          <部門名フリガナ/>
          <郵便番号/>
          <住所/>
          <住所フリガナ/>
          <電話番号/>
          <FAX番号/>
          <電子メールアドレス/>
        </申請者情報>
        <連絡先情報>
          <氏名/>
          <氏名フリガナ/>
          <役職/>
          <法人団体名/>
          <法人団体名フリガナ/>
          <部門名/>
          <部門名フリガナ/>
          <郵便番号/>
          <住所/>
          <住所フリガナ/>
          <電話番号/>
          <FAX番号/>
          <電子メールアドレス/>
        </連絡先情報>
      </申請者連絡先情報>
    </管理情報>
  </構成情報>
</DataRoot>
```

図 2-5 構成情報の記述例(1/3)

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

```
<委任登録票添付情報>
  <発行番号/>
  <委任登録票名称/>
  <委任登録票ファイル名称/>
</委任登録票添付情報>
</申請者連絡先情報>
</管理情報>
<手数料情報>
  <手数料1>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料1>
  <手数料2>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料2>
  <手数料3>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料3>
  <手数料4>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料4>
  <手数料5>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料5>
  <手数料6>
    <手数料識別子/>
    <略科目コード/>
    <略科目名/>
    <振込金額/>
  </手数料6>
</手数料情報>
<通信欄/>
<府省照会情報>
  <府省照会1>
    <府省照会情報ラベル/>
    <府省照会情報/>
  </府省照会1>
  <府省照会2>
    <府省照会情報ラベル/>
    <府省照会情報/>
  </府省照会2>
  <府省照会3>
    <府省照会情報ラベル/>
    <府省照会情報/>
  </府省照会3>
  <府省照会4>
    <府省照会情報ラベル/>
    <府省照会情報/>
  </府省照会4>
```

図 2-6 構成情報の記述例(2/3)

2 申請データ構造仕様

2.2 XML文書構造

```
<府省照会5>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会5>
<府省照会6>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会6>
<府省照会7>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会7>
<府省照会8>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会8>
<府省照会9>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会9>
<府省照会10>
  <府省照会情報ラベル/>
  <府省照会情報/>
</府省照会10>
</府省照会情報>
<提出先情報>
  <提出先識別子/>
  <提出先名称/>
</提出先情報>
<申請書属性情報><申請書様式ID>900AAAAA001100101</申請書様式ID>
<申請書様式バージョン>0001</申請書様式バージョン>
<申請書様式名称>個別ファイル署名用申請書</申請書様式名称>
<申請書ファイル名称>900AAAAA001100101_01.xml</申請書ファイル名称>
</申請書属性情報>
<構成情報>
<CanonicalizationMethod Algorithm="http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"/>
<SignatureMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#rsa-sha256"/>
<Reference URI="%E6%A7%8B%E6%88%90%E6%83%85%E5%A0%B1">
  <Transforms>
    <Transform Algorithm="http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315"/>
  </Transforms>
  <DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#sha256"/>
  <DigestValue>We6h3K/LMhbCF6sYoKBe6MQSN4B0BuKHfdi6Ca4ctos=</DigestValue>
</Reference>
<Reference URI="900IKKATU001100101_01.xml">
  <DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#sha256"/>
  <DigestValue>[900AAAAA001100101_01.xmlのハッシュ値]</DigestValue>
</Reference>
</SignedInfo>
<SignatureValue>[署名値]</SignatureValue>
<KeyInfo>
  <X509Data>
    <X509Certificate>[署名に使用された証明書のBase64エンコード]
  </X509Certificate>
  </X509Data>
</KeyInfo>
</Signature>
</署名情報>
<その他>
  <納付関連情報>
    <納付方法/>
    <振込者氏名カナ/>
  </納付関連情報>
  <法人番号/>
</その他>
</DataRoot>
```

図 2-7 構成情報の記述例(3/3)

2.2.3. 取下げ依頼情報ファイル

取下げ依頼情報は、申請済の手續に対して、申請の取下げを行う際に利用するファイルである。

(1) 取下げ依頼情報のタグ構成

取下げ依頼情報のタグ構成を以下に示す。

表 2-7 取下げ依頼情報のタグ構成

項目	内容	出現回数	必須項目	フォーマット
DataRoot	取下げ依頼XMLのルート	1	—	—
様式ID	取下げ依頼固有の番号	1	●	文字種:半角英数字 最大18文字
様式バージョン	取下げ依頼の版数	1	●	文字種:半角数字 フォーマット:NNNN ex)0001
STYLESHEET	スタイルシートのファイル名	1	●	文字種:半角 最大256文字 フォーマット:ファイル.xml (ファイルパスは含めない)
取下げ依頼情報	取下げ依頼のルート要素	1	—	—
到達番号	取下げ対象となる申請案件の到達番号	1	●	文字種:半角英数字 16文字または18文字
手續名称	手續の名称	1	●	文字種:全角 最大1024文字
申請者氏名	申請者の氏名	1	●	文字種:全角 最大256文字
依頼年月日	取下げ依頼年月日	1	—	—
年	取下げ依頼の年	1	●	文字種:半角数字 4文字固定
月	取下げ依頼の月	1	●	文字種:半角数字 2文字固定
日	取下げ依頼の日	1	●	文字種:半角数字 2文字固定
理由	理由	1	—	文字種:全角 最大256文字

●: 必須項目

(2) 取下げ依頼情報の記述例

取下げ依頼情報の記述例について、以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<?xml-styleSheet href="9990000000000000001.xml" type="text/xml"?>
<DataRoot>
  <様式ID>9990000000000000001</様式ID>
  <様式バージョン>0001</様式バージョン>
  <STYLESHEET>9990000000000000001.xml</STYLESHEET>
  <取下げ依頼情報>
    <到達番号>90020200000000001</到達番号>
    <手續名称>XXXXXXX手續／電子申請</手續名称>
    <申請者氏名>テスト 太郎</申請者氏名>
    <依頼年月日>
      <年>2020</年>
      <月>09</月>
      <日>30</日>
    </依頼年月日>
    <理由>XXXXのため。</理由>
  </取下げ依頼情報>
</DataRoot>
```

図 2-8 取下げ依頼情報の記述例

3. 形式チェックルール定義仕様

3.1. 形式チェック

形式チェックは、申請書入力時の単項目チェック、サーバ側での関連項目チェック・条件必須チェックで、入力値の妥当性のチェックルールを定義する。形式チェックは1つのチェック対象 XML に対して1ファイル(省略可能)で構成する。以下に形式チェック内容を示す。

3.1.1. 形式チェック内容

表 3-1 形式チェックのチェック内容

No	チェック内容	概要
1	入力不可	入力データがないこと
2	省略不可	入力データがあること
3	入力文字種チェック	
4	半角英字	入力データが半角英字であること
5	半角文字	入力データが半角文字であること (半角カタカナは含まない)
6	全角ひらがな	入力データが全角ひらがなであること
7	全角カタカナ	入力データが全角カタカナであること
8	全角数字	入力データが全角数字であること
9	全角文字	入力データが全角文字であること
10	空白文字使用不可	入力データに空白文字が使用されていないこと
11	日付	以下の内容について日付検証を行う。
12	年号	・和暦の年号において存在している年及び年度であるか
13	年	・存在する月日であるか(うるう年チェックを含む)
14	月	・以下の組み合わせで入力データが半角整数の日付であること
15	日	①「年号」「年」 ②「年号」「年」「月」
16	年度	③「年号」「年」「月」「日」 ④「年号」「年度」
17	西暦(YYYY/MM/DD 形式)	① 「年号」「年度」「月」 ⑥「年」「月」 ② 「年」「月」「日」 ⑧「YYYY/MM/DD」
18	指定文字	入力データが指定された文字で構成されていること
20	メールアドレス	入力データがメールアドレスの形式であること
21	住民票コード	入力データが住民票コードであること
22	郵便番号	入力データが郵便番号であること
23	電話番号	入力データが電話番号であること
24	文字列内容チェック	
25	文字列数比較	
26	文字数	入力データが指定されている文字数と一致・範囲内であること
27	全文字数一致	
28	範囲内	
29	文字内容	

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	チェック内容		概要
30		文字列内容	入力されたデータの文字内容の比較を行う
31		一致	
32		不一致	
33	数字内容チェック		
34		整数部桁数	整数部桁数＋小数点以下桁数(固定数字)の場合、入力文字種に合わせてチェック項目を構成する
35		桁数	
36		桁数一致	
37		範囲内	
38		小数部桁数	小数点以下桁数の場合、入力文字種にあわせてチェック項目を構成する
39		桁数	
40		桁数一致	
41		範囲内	
42		数値範囲	入力データの値が以下の通りであること ・指定値と大小比較して大きい／小さい／等しいこと ・境界値の範囲内／範囲外であること 「≥」「≤」の演算子は「>」「<」「＝」を組み合わせる 小数による比較も可能
43		指定値・境界値	
44		=	
45		>	
46		<	
47	個人番号チェック		入力データが先頭 11 桁の番号に基づいて得られる検査用数字が入力されたものと一致すること
48	法人番号チェック		入力データが 12 桁の基礎番号に対して得られる検査用数字が入力されたものと一致すること

3.1.2. 形式チェックの基本構造

形式チェックルールには、以下の情報を持つことが必要となる。

(1) チェック項目

形式チェックにおけるチェック項目は、単項目チェック、関連項目チェックと条件必須チェックに分類される。各分類の説明を「表 3-2 形式チェック項目の概要」に示す。

表 3-2 形式チェック項目の概要

No	チェック項目	説明
1	単項目チェック	チェック対象 XML の1つのタグに対するチェック。ただし、日付チェックは除く。
2	単項目に対する関連項目チェック	単項目の関連チェック条件となる。関連項目チェックが条件を満たした時、単項目チェックを実施する。
3	全体に対する関連項目チェック	チェック対象 XML で、複数タグを対象にした論理条件によるチェックである。
4	条件必須チェック	チェック対象 XML で、指定のチェック条件を満たした時、構成管理情報 XML で添付書類の添付必須／不要を確認するチェックである。構成管理情報 XML のチェックを実施するための条件には、単項目チェック・単項目に対する関連項目チェックが使用できる。
5	郵便番号と都道府県に対する関連項目チェック	チェック対象 XML で、郵便番号と都道府県に対する妥当性チェックである。
6	項目比較チェック	チェック対象 XML で、文字の一致不一致、数字、日付等、二項間の一致不一致、大小関係の比較を行う。算術演算も可能。

(2) チェック対象の位置情報

チェック対象の位置情報は<xpath>の要素内容として xpath 方式で記述する。また、取得するのは要素内容 (DOM のテキストノード部分) のみのため、text()等のノードテストは使用しない。指定要素が子要素を有する場合は、子要素全ての内容について、それぞれ同様のチェックを行う。これは孫要素が存在する場合も同様である。ただし日付チェックの項目はこれに当たらない。

(3) エラー情報

エラー情報に使用する項目名を記述する。

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

(4) 形式チェックの基本構造

チェック対象の XML ファイルを以下としたときの形式チェックの基本構造を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<申請者>
  <氏名>申請太郎</氏名>
  <住所>東京都中央区霞が関1</住所>
</申請者>
```

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<checkRoot>
  <checkItem>.....配下にチェックする単項目の情報を記述する
    <xpath>/申請者/住所</xpath>.....チェックする項目の場所 ※1
    <errtag>住所</errtag>.....エラー情報に使う名前
    <errorChangeBackColor></errorChangeBackColor>...入力エラー時の背景色変更設定(省略可)
    <inputCheck>.....単項目チェック情報を記述する
      <inputData>
        <fullAllChar></fullAllChar>
      </inputData>
      <char>
        <range>
          <equal>8</equal>
        </range>
      </char>
    </inputCheck>
    <correlationCheckItem>.....配下にチェックする関連項目の
      <logic>.....情報を記述する
        <and/>.....関連項目チェック条件が複数ある場合
        </logic>.....の論理条件
        <condition>.....相関関係条件 ※2
          <xpath>/申請者/氏名</xpath>...相関関係先の場所
          <errtag>氏名</errtag>.....エラー情報に使う名前
          <inputCheck>.....単項目チェック情報を記述する
            <omitDisabled/>.....相関項目チェック条件
          </inputCheck>
        </condition>
      </correlationCheckItem>
    </checkItem>
</checkRoot>
```

単項目チェック

この条件が真の場合、単項目チェックが実行される

単項目に対する相関項目チェック

この例では、/申請者/氏名の値が入力されている場合は上記の単項目チェックが有効になる

※1 グループ項目部を指定した場合は、配下の項目についてすべて同じルールを適用する。

xpath 一つについて複数の項目が挙げられる場合もすべての項目について同じルールを適用する。
ただし、エラー情報に使う名前は同様とする。

※2 相関関係先の条件。n 回指定できる。

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

3.1.3. 形式チェックのタグ構成

(1) 形式チェックのタグ構成

形式チェックのタグ構成について、「表 3-3 形式チェックのタグ構成」に示す。

表 3-3 形式チェックのタグ構成

No	項目	チェック内容	備考
1	checkRoot	ルート	形式チェックのルート要素
2	checkItem	単項目チェック情報	
3	xpath	単項目チェック対象の場所	指定したパスは存在していなければならない。ただし、繰り返しの項目(同じ xpath となる項目が複数ある場合)については、一つでも存在していれば良い。
4	errtag	エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。
5	errorChangeBackColor	入力エラー時の背景色変更設定	入力エラー時に背景色変更を行う場合、空タグを置く。 省略した場合、入力エラーとなっても、背景色は変更されない。 ※テキスト(エディットボックス)、または矩形テキストのみ指定可能とする。なお、その他のタグで指定した場合、無効となる(動作しない)。 ※エラー時の背景色は#FF8888。
6	inputCheck	単項目チェックのチェックルール	
7			「チェックルールのタグ構成」を参照
8	correlationCheckItem	単項目に対する相関項目チェック情報	
9	logic	論理条件	相関項目チェックの論理条件
10	and	論理積	相関項目チェック条件がすべて真
11	or	論理和	相関項目チェック条件の1つ以上が真
12	xor	排他的論理和	相関項目チェック条件のいずれか1つが真
13	nand	否定論理積	相関項目チェック条件の1つ以上が偽
14	nor	否定論理和	相関項目チェック条件がすべて偽
15	condition	相関関係条件	複数回指定可能
16	xpath	相関項目チェック対象の場所	
17	errtag	エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。
18	inputCheck	相関項目チェックのチェックルール	
19			「チェックルールのタグ構成」を参照
20	correlationCheckAll	全体に対する相関項目チェック情報	
21	logic	論理条件	相関項目チェックの論理条件

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	項目			チェック内容	備考
22			and	論理積	関連項目チェック条件がすべて真
23			or	論理和	関連項目チェック条件の1つ以上が真
24			xor	排他的論理和	関連項目チェック条件のいずれか1つが真
25			nand	否定論理積	関連項目チェック条件の1つ以上が偽
26			nor	否定論理和	関連項目チェック条件がすべて偽
27			condition		関連関係条件
28		xpath		関連項目チェック対象の場所	
29		errtag		エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。
30		inputCheck		関連項目チェックのチェックルール	
31					
32	kouseiCheckItem			条件必須チェック情報	
33	xpath		チェック対象XMLの単項目チェック対象の場所	指定したパスは存在していなければならない。ただし、繰り返しの項目(同じ xpath となる項目が複数ある場合)については、一つでも存在していれば良い。	
34	errtag		エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。	
35	inputCheck		単項目チェックのチェックルール		
36					
37	correlationCheckItem			単項目に対する関連項目チェック情報	
38	logic		論理条件	関連項目チェックの論理条件	
39			and	論理積	関連項目チェック条件がすべて真
40			or	論理和	関連項目チェック条件の1つ以上が真
41			xor	排他的論理和	関連項目チェック条件のいずれか1つが真
42			nand	否定論理積	関連項目チェック条件の1つ以上が偽
43			nor	否定論理和	関連項目チェック条件がすべて偽
44	condition		関連関係条件	複数回指定可能	
45	xpath		関連項目チェック対象の場所	申請書間をまたぐ場合は、同階層の上部に filename タグを指定する。	
46	errtag		エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。	
47	inputCheck		関連項目チェックのチェックルール		
48					
49	conditionCheck			構成管理情報 XML チェック情報	複数回指定可能(論理条件:論理積)。attachedDocName、attachedType は必須である。
50	errtag		エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。	

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	項目			チェック内容	備考
51			attachedDocName	添付書類の名称	attachedType の指定値により、構成管理情報XMLの添付書類について以下チェックをする。 0:添付不要 指定された attachedDocName の内容が、構成管理情報 XML の添付書類名称に無いことをチェックする。
52			attachedType	添付書類の添付条件	1:添付必須 指定された attachedDocName の内容が、構成管理情報 XMLの添付書類名称に有り、かつ添付書類ファイル名称が設定されていることをチェックする。
53			integrityCheckItem	郵便番号、都道府県チェック情報	郵便番号と都道府県が一致しているかチェックする。 確認ができた大口事業所個別番号が有効な郵便番号かチェックする。
54			post	郵便番号の xpath	
55			prefecture	都道府県の xpath	
56			corporate-number	法人番号の xpath	郵便番号と、法人番号に登録されている都道府県が一致しているかチェックする。
57			correlationConditionCheck		
58			checkItemTrue	相関関係チェックの正情報	相関項目チェックの論理条件が正の場合に行うチェック
59			xpath	相関項目チェック対象の場所	
60			errtag	エラー情報に使用する名前	
61			inputCheck	相関項目チェックのチェックルール	
62			...		
63			checkItemFalse	相関関係チェックの否情報	相関項目チェックの論理条件が否の場合に行うチェック
64			xpath	相関項目チェック対象の場所	
65			errtag	エラー情報に使用する名前	カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。
66			inputCheck	相関項目チェックのチェックルール	
67			...		
68			logic	論理条件	相関項目チェックの論理条件
69			...		「論理条件」を参照
70			condition	相関関係条件	複数回指定可能
71			...		「相関関係条件」のタグ構成を参照
72			correlationCompareCheck	項目間チェック情報	
73			comparison	比較条件	

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	項目			チェック内容	備考
74			equal	=	≦や≧を設定する場合は、equal と、moreThan または lessThan のどちらかを組み合わせて配置する。
75			moreThan	>	
76			lessThan	<	
77			stringEqual	文字列一致	比較元・比較先に、date タグや算術演算子タグがある場合はエラー
78		conditionWith			複数回指定可能
79		xpath			申請書間をまたぐ場合は、同階層の上部に filename タグを指定する。
80		errtag			カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。
81			add	+	四則演算を設定する。四則演算は数値のみ可 で、conditionWith 配下に配置された xpath の数値に対して標準的な計算を行う。
82			sub	-	
			mul	×	
83			div	÷	
84		date			日付比較を行う。
85		...			No78～82 を繰り返し配置する。 なお、繰り返し配置した際の四則演算は定義された順(上から順)に計算を行う。
86		conditionTo			
87		xpath			関連項目チェック対象の場所
88		errtag			カンマを指定する場合は文字コード(,)による指定とする。

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

(2) チェックルールのタグ構成

チェックツールのタグ構成については、以下の「表 3-4 チェックルールのタグ構成」に示す。

表 3-4 チェックルールのタグ構成

No	項目	チェック内容	備考														
1	inputCheck	単項目チェック	親要素が存在する場合に限り選択必須。なお、入力文字種を指定しない場合(inputData 配下と numerical を記載しない場合)は全角文字＋半角文字＋空白の文字種チェックの意味となる。														
2	inputDisabled	入力不可	チェック項目とする場合、空タグとして置く。このタグを置いた場合、他のチェックルールタグを指定することはできない。														
3	omitDisabled	省略不可(入力必須)	チェック項目とする場合、空タグとして置く														
4	inputData	入力文字種チェック	子要素である halfEnglish,halfAllChar,fullHiraChar,fullKanaChar,fullNumeral,fullAllChar,SpecifiedLetter,nonspace,date,mail,resident,post,tel のうちいずれかの入力文字種1種類を選択すること。 ただし、specifiedLetter(指定文字)に関しては以下の表に示した文字種の中から一つだけを組み合わせる使用ができる。指定文字と組み合わせる使用のできる文字種は以下のとおり。 <table><tr><th>項目</th><th>チェック内容</th></tr><tr><td>halfEnglish</td><td>半角英字</td></tr><tr><td>halfAllChar</td><td>半角文字</td></tr><tr><td>fullHiraChar</td><td>全角ひらがな</td></tr><tr><td>fullKanaChar</td><td>全角カタカナ</td></tr><tr><td>fullNumeral</td><td>全角数字</td></tr><tr><td>fullAllChar</td><td>全角文字</td></tr></table>	項目	チェック内容	halfEnglish	半角英字	halfAllChar	半角文字	fullHiraChar	全角ひらがな	fullKanaChar	全角カタカナ	fullNumeral	全角数字	fullAllChar	全角文字
項目	チェック内容																
halfEnglish	半角英字																
halfAllChar	半角文字																
fullHiraChar	全角ひらがな																
fullKanaChar	全角カタカナ																
fullNumeral	全角数字																
fullAllChar	全角文字																
5	halfEnglish	半角英字	チェック項目とする場合、空タグとして置く。														
6	halfAllChar	半角文字	入力データが半角数字項目の場合は inputData タグとその配下を記述せず、数字内容チェック(numerial)として記述する。														
7	fullHiraChar	全角ひらがな	<table><tr><td>半角英字</td><td>入力データが半角文字の大小アルファベット部分であること</td></tr></table>	半角英字	入力データが半角文字の大小アルファベット部分であること												
半角英字	入力データが半角文字の大小アルファベット部分であること																
8	fullKanaChar	全角カタカナ	<table><tr><td>半角文字</td><td>入力データが半角文字であること(半角カナ文字・半角空白は除く)。</td></tr></table>	半角文字	入力データが半角文字であること(半角カナ文字・半角空白は除く)。												
半角文字	入力データが半角文字であること(半角カナ文字・半角空白は除く)。																
9	fullNumeral	全角数字	<table><tr><td>全角ひらがな</td><td>入力データが全角文字のひらがな部分であること</td></tr></table>	全角ひらがな	入力データが全角文字のひらがな部分であること												
全角ひらがな	入力データが全角文字のひらがな部分であること																
10	fullAllChar	全角文字	<table><tr><td>全角カタカナ</td><td>入力データが全角文字のカタカナ部分であること</td></tr><tr><td>全角数字</td><td>入力データが全角文字の数字部分であること。</td></tr><tr><td>全角文字</td><td>入力データが全角文字であること(全角空白は除く)。</td></tr></table> 半角文字は、JIS X 0201 を使用する。(半角カナは除く) 全角文字は、JIS X 0208 を使用する。漢字については、JIS 第 1 水準漢字～JIS 第 4 水準漢字とする。なお、文字水準の範囲については、連携先システム毎に府省側で設定が可能で、設定された文字水準の範囲であるかをチェックする。 全角記号のうち、「―(全角ダッシュ)」「～」「〳」「―(全角マイナス)」「¢」「£」「―」の7文字については IBMUnicode ではなく MSUnicode のみを許容する。 制御文字は使用不可とする。	全角カタカナ	入力データが全角文字のカタカナ部分であること	全角数字	入力データが全角文字の数字部分であること。	全角文字	入力データが全角文字であること(全角空白は除く)。								
全角カタカナ	入力データが全角文字のカタカナ部分であること																
全角数字	入力データが全角文字の数字部分であること。																
全角文字	入力データが全角文字であること(全角空白は除く)。																
11	specifiedLetter	指定文字	各 list 要素のコンテンツとして一文字ずつ指定文字を格納 親要素が存在する場合に限り選択可能。なお list は複数指定可能 矩形テキストに、改行・タブを入力可とする場合は、list に以下を指定する。 ・改行:「¥n」 ・タブ:「¥t」														
12	list	指定文字															
13																	
14	nonspace	空白文字使用不可	チェック項目とする場合、空タグとして置く。 半角及び全角の空白文字使用不可とする場合、当該タグを設定する。なお、併用できるのは、省略不可(入力必須)のみとする。														
15	date	日付	チェック項目とする場合、date 要素配下にチェック対象項目のタグを組み合わせ、空タグとして置く。組み合わせパターンは以下の①～⑧とする。 ①「年号」「年」 ②「年号」「年」「月」														
16	era	年号															
17	year	年															

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	項目			チェック内容			備考						
18			month			月	③「年号」「年」「月」「日」 ④「年号」「年度」 ⑤「年号」「年度」「月」 ⑥「年」「月」 ⑦「年」「月」「日」 ⑧「YYYY/MM/DD」 xpath 要素は日付項目の1階層上を指定する。(⑧YYYY/MM/DD は除く) ex)xpath の指定方法						
19			day			日	<table><tr><th>日付項目</th><th>xpath の指定</th></tr><tr><td><申請年月日> <年>2005</年> <月>01</月> <日>01</日> </申請年月日></td><td><xpath>/申請年月日</xpath></td></tr><tr><td><申請年月日> 2005/01/01 </申請年月日></td><td><xpath>/申請年月日</xpath></td></tr></table>	日付項目	xpath の指定	<申請年月日> <年>2005</年> <月>01</月> <日>01</日> </申請年月日>	<xpath>/申請年月日</xpath>	<申請年月日> 2005/01/01 </申請年月日>	<xpath>/申請年月日</xpath>
日付項目			xpath の指定										
<申請年月日> <年>2005</年> <月>01</月> <日>01</日> </申請年月日>			<xpath>/申請年月日</xpath>										
<申請年月日> 2005/01/01 </申請年月日>	<xpath>/申請年月日</xpath>												
20	nendo	年度											
21			yyyymmdd			西暦	日付項目(及び配下項目)の入力データは、日付の形式及び内容が正しいことを以下のパターンについて検証可能とする。 日付の妥当性を検証する対象項目の配下が ・年号、年(または年度)、月、日の項目が存在する場合 ・項目が存在しない場合(西暦のみとする) 年号と西暦和暦の関係性については以下のようにチェックを行う ・「年号」タグがなく、「年」タグが指定されたとき、年は 4 桁であること ・「年号」タグが指定されたとき、年は 2 桁以内であること 年号に関して「元年」と「1 年」は同じ扱いとする 一桁の数字に関しては、頭に'0'をつけるものにつけないもの両方を扱うこととする						
22			mail			メールアドレス	チェック項目とする場合、空タグとして置く。実際に存在するアドレスかどうかをチェックするわけではなく xxx@xxx と@を挟んだ両側の文字列がすべて ASCII コードかをチェックする。						
23			resident			住民票コード	チェック項目とする場合、空タグとして置く。11 桁の半角数字かどうかチェックする。						
24			post			郵便番号	チェック項目とする場合、空タグとして置く。実際に存在する郵便番号かどうかをチェックするわけではなく xxx-yyy-yyy とハイフンを挟んだ 7 桁の半角数字が存在するかをチェックする。						
25			tel			電話番号	チェック項目とする場合、空タグとして置く。実際に存在する電話番号かどうかをチェックするわけではなく xxxx-yyy-yyy-zzzz と2つのハイフンを挟んだ半角数字が存在するかをチェックする。(桁数は考慮に入れない)						
26		char				文字列内容チェック	チェック対象が半角数字・日付以外の場合に利用可能。range、contents のいずれかが少なくとも一つはなければならない						
27			range			文字列数比較	文字数が範囲内 or 文字数一致に関しては演算子を選択する。 number は必須であり、equal、within はいずれか一方のみを選択する。						
28			number			文字数							
29			equal			全文字数一致							
30			within			範囲内							
31			contents			文字内容	一致・不一致に関しては演算子を選択する。文字内容の比較を行う場合は内容と一致不一致タグと演算子として equal , notEqual タグを空タグで設置する contents タグは複数指定できるが、矛盾がないことが必須。複数条件の場合は条件のうちどれか一つだけ成立していれば良い。value は必須であり、equal、notEqual はいずれか一方のみを選択する。						
32			value			文字列内容							
33			equal			一致							
34			notEqual			不一致							
35		numerical				数字内容チェック	入力データが半角数字と半角マイナス(-)、半角ピリオド(.)であること。半角マイナスあるいは半角ピリオドが 2 つ以上あってはならない。 なお、子要素である intDigit、decimalDigit、point の選択は任意となる。						
36			intDigit			整数部桁数	範囲内 or 桁数一致に関しては演算子を選択する。固定数字・数字項目の場合のみ記述する。						
37			number			桁数	文字種が数値であることのチェックを行いたい場合に numerical を配置する。さらに整数部 or 小数部があることを確認したい場合は intDigit or decimalDigit を配下に配置する。number は必須であり、桁数チェックを行いたい場合は、equal、within はいずれか一方のみを選択する。						
38			equal			桁数一致							
39			within			範囲内							
40			decimalDigit			小数部桁数							

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

No	項目			チェック内容			備考
41			number			桁数	
42			equal			桁数一致	
43			within			範囲内	
44			point			数値範囲	指定値及び境界値を value 要素のコンテンツとして格納。利用する演算子を point 要素配下に空タグとして置く。指定値の大小をチェックしたい場合 point 要素を1つ置く。境界値の範囲内(外)をチェックしたい場合は point 要素を2つ置く。3つは置けない。なお、value は選択必須となる。 Point 要素を2つ置く場合、moreThan の指定値を m、lessThan の指定値を l、チェック対象を x とすると、 • $m < l$ の場合、「$m < x < l$」のチェックを行う。 • $m > l$ の場合、「$x < l$、$m < x$」のチェックを行う。 • $m = l$ の場合、「$x != m$」のチェックを行う。ただし、equal の指定は併用できない。 小数による比較も可能。 ex) $X \geq 20.3$ を表現したい場合 <pre> <numerical> <point> <value>20.3</value> <equal></equal> <moreThan></moreThan> </point> </numerical> ex) $1999 > X > 1973$ を表現したい場合 <numerical> <point> <value>1973</value> <moreThan></moreThan> </point> <point> <value>1999</value> <lessThan></lessThan> </point> </numerical> </pre>
45			value			指定値・境界値	
46			equal			=	
47			moreThan			>	
48			lessThan			<	
49			my-number			個人番号チェック	チェック項目とする場合、空タグとして置く。個人番号が妥当かどうかをチェックする。
50			corporate-number			法人番号チェック	チェック項目とする場合、空タグとして置く。法人番号が妥当かどうかをチェックする。

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

(3) 年号の上限値と下限値

年号の上限値と下限値を「表 3-5 年号の上限値と下限値」に示す。

表 3-5 年号の上限値と下限値

年号	年度		年		備考
	下限	上限	下限	上限	
明治	2	45	元年	45	※注1・注2・注3
	1869/4/1	1913/3/31	1868/9/8	1912/7/30	※注4
大正	2	15	元年	15	※注3・注4
	1913/4/1	1927/3/31	1912/7/30	1926/12/25	
昭和	2	63	元年	64	※注3・注4
	1927/4/1	1989/3/31	1926/12/25	1989/1/7	
平成	元年	31	元年	31	※注3・注4
	1989/4/1	2020/3/31	1989/1/8	2019/4/30	※注5
令和	元年	99	元年	99	※注3・注4
	2019/4/1	2118/3/31	2019/5/1	2117/12/31	※注5

※注1

明治5年12月2日まで旧暦を使用。明治5年12月3日→明治6年1月1日となるので、明治5年12月3～31日は無効。それまでの日本では太陰太陽暦(旧暦)を利用していたが明治5年11月9日太政官布告により太陽暦(グレゴリオ暦)に改暦された。

※注2

ただし、明治31年まではユリウス暦とグレゴリオ暦を混同していたもよう。そのため本来1900年は閏年ではないが、1900年を閏年としている。完全なグレゴリオ暦が採用されたのは明治31年。

※注3

大正・昭和の「改元の詔書」によると「明治45年7月30日と大正元年7月30日」及び「大正15年12月25日と昭和元年12月25日」はともに存在する。しかし、「元号を改める政令」で昭和64年は「1月7日」までであり、平成元年は「1月8日」からとなる。

※注4

『年度』において元年が存在するものは、4月1日時点で改元しているもの。4月2日以降に改元されたものに関しては、2年度より開始とする。

「令和」については政府の方針に伴い元年度も存在する扱いとする。

※注5

2019年5月1日以降、府省毎に以下のいずれかのルールに従う形式とする。

- ① 2019年5月1日以降も平成を使用する
- ② 2019年5月1日以降、平成と令和の両方を使用する
- ③ 2019年5月1日以降、令和のみを使用する

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

各形式において、許容される年号の上限値と下限値について「表 3-6 年号の上限値と下限値（並行期間パターン）」に示す。

表 3-6 年号の上限値と下限値（並行期間パターン）

並行期間 形式	年号	年度		年	
		下限	上限	下限	上限
①	平成	元年	99	元年	99
		1989/4/1	2088/3/31	1989/1/8	2087/12/31
	令和	未設定	未設定	未設定	未設定
		未設定	未設定	未設定	未設定
②	平成	元年	99	元年	99
		1989/4/1	2088/3/31	1989/1/8	2087/12/31
	令和	元年	99	元年	99
		2019/4/1	2118/3/31	2019/5/1	2117/12/31
③	平成	元年	31	元年	31
		1989/4/1	2020/3/31	1989/1/8	2019/4/30
	令和	元年	99	元年	99
		2019/4/1	2118/3/31	2019/5/1	2117/12/31

3.1.4. 形式チェックの記述例

単項目チェック、単項目に対する関連項目チェック、全体に対する関連項目チェックについて代表的な記述例を以下に示す。

(1) 単項目チェック

ア. 半角数字チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種: 半角数字

整数部桁数: 10桁以内

小数部桁数: 5桁以内

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <numerical>
        <intDigit>
          <number>10</number>
          <within></within>
        </intDigit>
        <decimalDigit>
          <number>5</number>
          <within></within>
        </decimalDigit>
      </numerical>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種: 半角数字 整数部のみ

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <numerical>
        <decimalDigit>
          <number>0</number>
          <equal></equal>
        </decimalDigit>
      </numerical>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:半角数字 小数部あり

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <numerical></numerical>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:半角数字 小数部あり

整数部桁数:10桁以内

小数部桁数: 5桁以内

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <numerical>
        <intDigit>
          <number>10</number>
          <within></within>
        </intDigit>
        <decimalDigit>
          <number>5</number>
          <within></within>
        </decimalDigit>
      </numerical>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

イ. 全角ひらがなチェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種:全角ひらがな

比較文字列:あいうえお

等号不等号:等号(比較文字列と等しい場合はtrue)

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <char>
        <contents>
          <value>あいうえお</value>
          <equal></equal>
        </contents>
      </char>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

ウ. 日付チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種: 日付

日付範囲: 平成3年以降(平成3年を含む)

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <date>
          <era></era>
          <year></year>
          <month></month>
          <day></day>
        </date>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb/年号</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <char>
        <contents>
          <value>平成</value>
          <equal></equal>
        </contents>
      </char>
    </inputCheck>
  </checkItem>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb/年</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <numerical>
        <point>
          <value>3</value>
          <equal></equal>
          <moreThan></moreThan>
        </point>
      </numerical>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

エ. 指定文字チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種:指定文字

指定文字列:abcde

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <specifiedLetter>
          <list>a</list>
          <list>b</list>
          <list>c</list>
          <list>d</list>
          <list>e</list>
        </specifiedLetter>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

オ. メールアドレスチェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合

文字種:メールアドレス

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <mail></mail>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

カ. 住民票コードチェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:住民票コード

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <resident></resident>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

キ. 郵便番号チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:郵便番号

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <post></post>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

ク. 電話番号チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:電話番号

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <tel></tel>
      </inputData>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

ケ. 入力不可チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、入力不可項目をチェックする場合

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputDisabled></inputDisabled>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

コ. 文字数チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字数のチェックする場合
(英字、半角文字、全角ひらがな、全角カタカナ、全角数字、全角文字のみ)

文字種:全角カタカナ

文字数:10文字

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <fullKanaChar></fullKanaChar>
      </inputData>
      <char>
        <range>
          <number>10</number>
          <equal></equal>
        </range>
      </char>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

サ. 色反転

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、色反転を行う場合

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <xpath>/aaa/bbb</xpath>
    <errtag>hoge</errtag>
    <errorChangeBackColor></errorChangeBackColor>
    <inputCheck>
      <inputData>
        <fullKanaChar></fullKanaChar>
      </inputData>
      <char>
        <range>
          <equal>8</equal>
        </range>
      </char>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

シ. 個人番号チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:個人番号

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <inputCheck>
      <my-number></my-number>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

ス. 法人番号チェック

/aaa/bbb/配下の要素内容に対して、文字種項目を以下の内容でチェックする場合
文字種:法人番号

```
<checkRoot>
  <checkItem>
    <inputCheck>
      <corporate-number></corporate-number>
    </inputCheck>
  </checkItem>
</checkRoot>
```

(2) 単項目に対する関連項目チェック

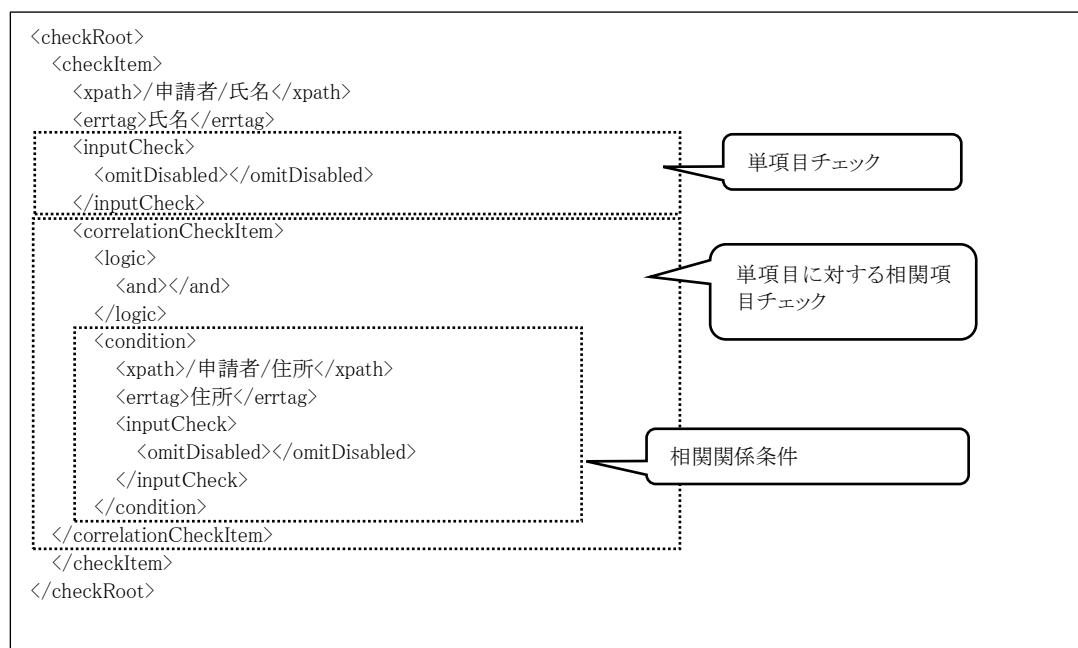
ア. 論理積チェック

/申請者/氏名/配下の要素内容に対して、関連項目チェックする場合

「住所が入力されている場合、氏名は省略不可(必須入力)」

単項目チェック : 氏名は省略不可(必須入力)

関連項目チェック : ただし、住所が入力されている場合



3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

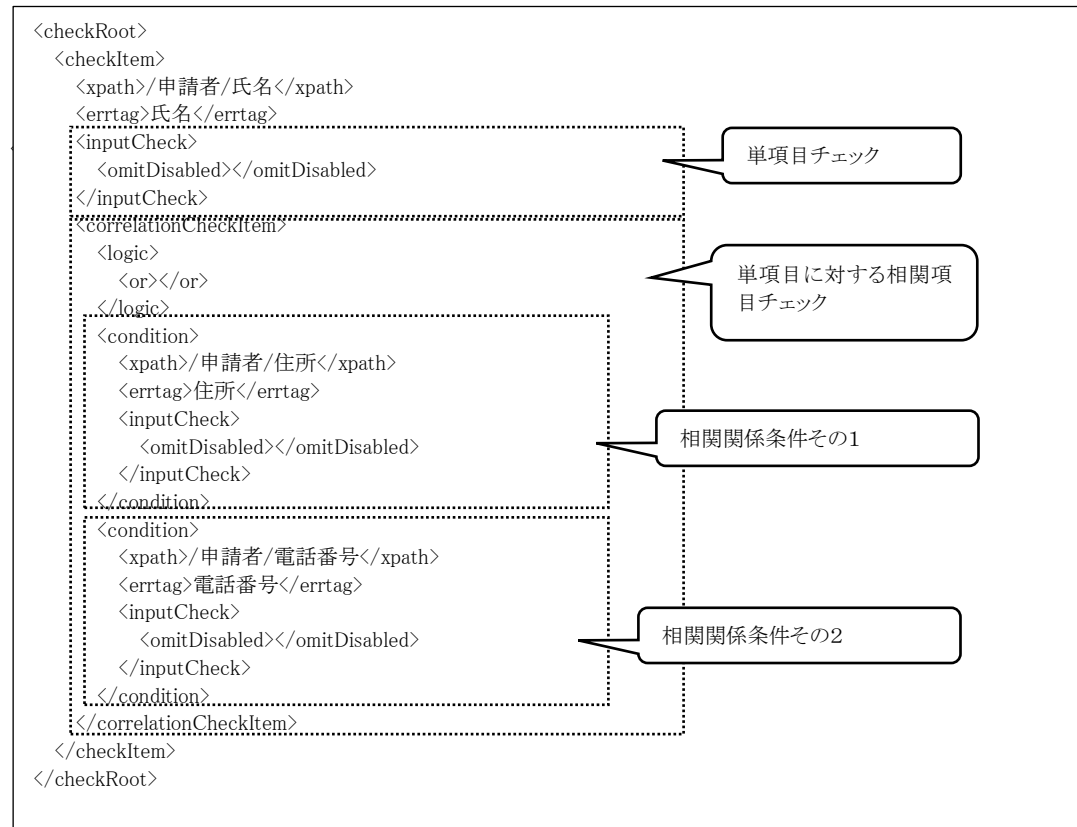
イ. 論理和チェック

/申請者/氏名/配下の要素内容に対して、関連項目チェックする場合

「住所が入力されている、または電話番号が入力されている場合、氏名は省略不可(必須入力)」

単項目チェック : 氏名は省略不可(必須入力)

関連項目チェック:ただし、住所が入力されている、または電話番号が入力されている場合



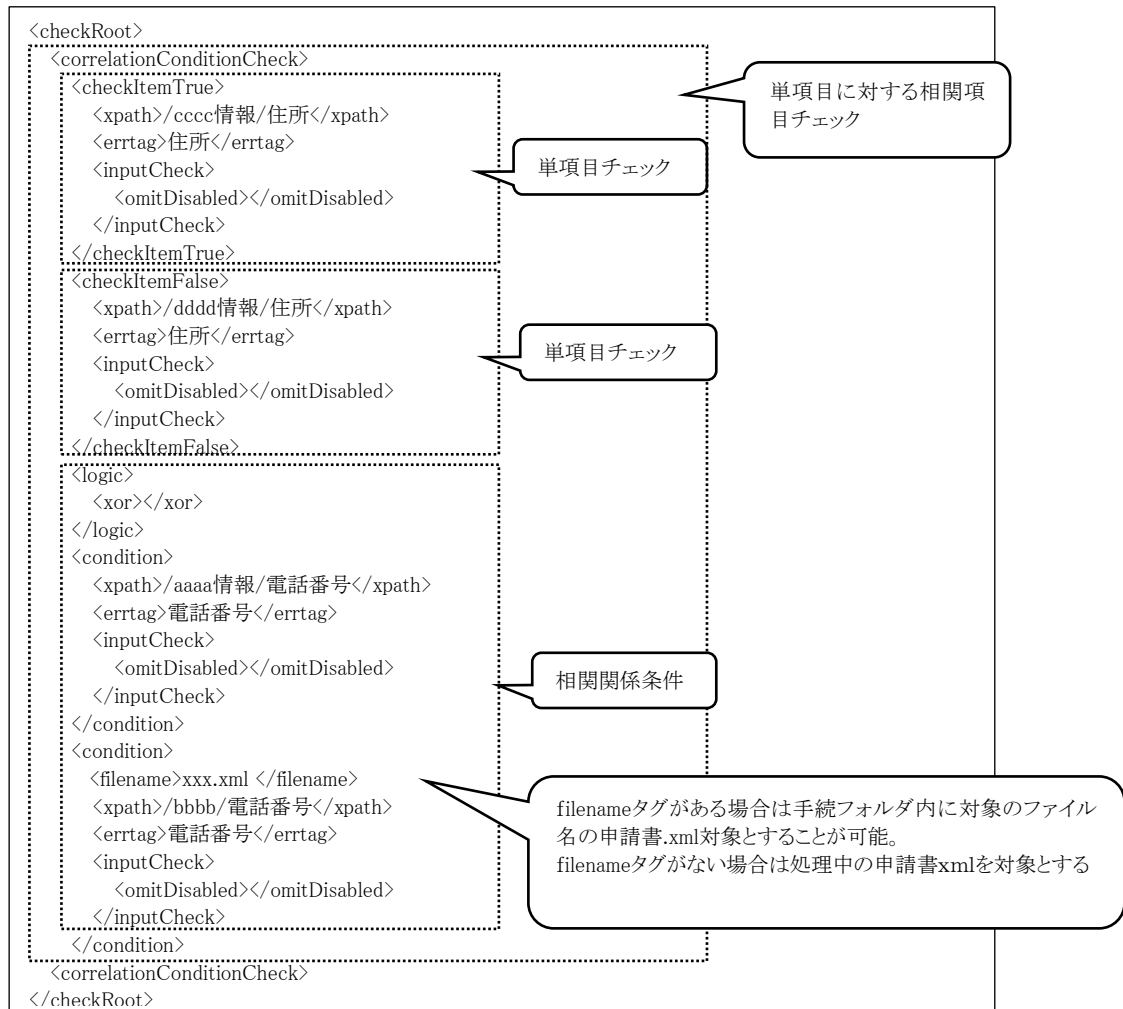
3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

ウ. 相関関係の結果による条件分岐

/aaaa情報/電話番号/配下の要素と/bbbb情報/電話番号/配下の要素に対して、

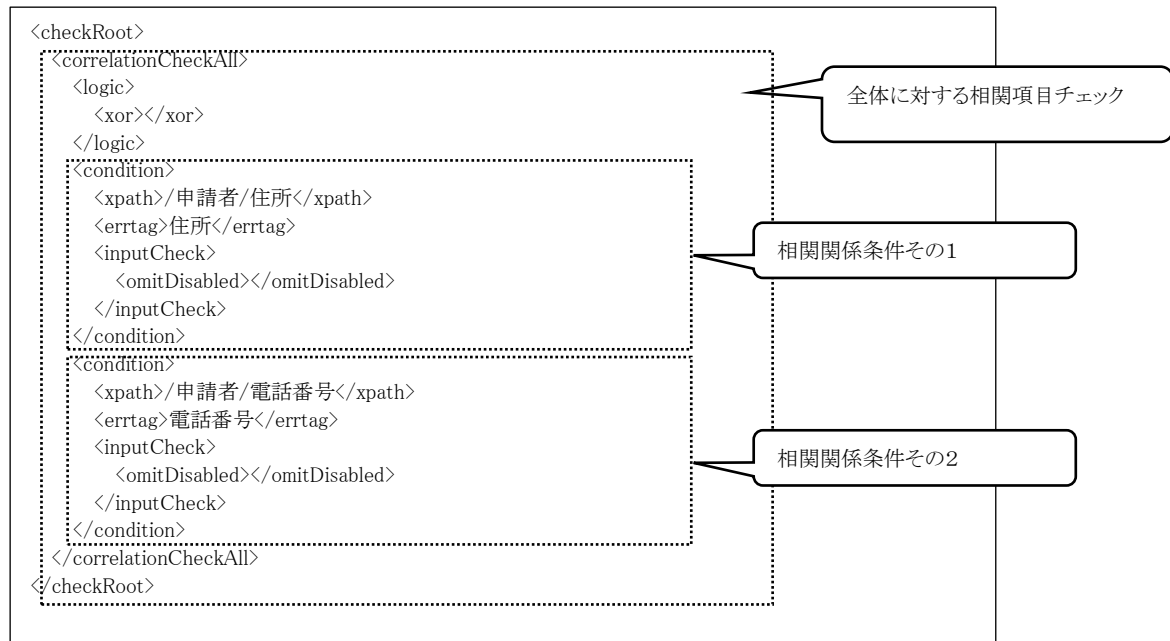
- どちらかが入力必須を満たしている場合、cccc情報/住所/配下の要素に対してチェックを行う。
- どちらも満たしていない場合、dddd情報/住所/配下の要素に対してチェックを行う。



(3) 全体に対する相関項目チェック

ア. 排他的論理和チェック

「住所、電話番号のいずれか一方のみ省略不可(必須入力)」の場合

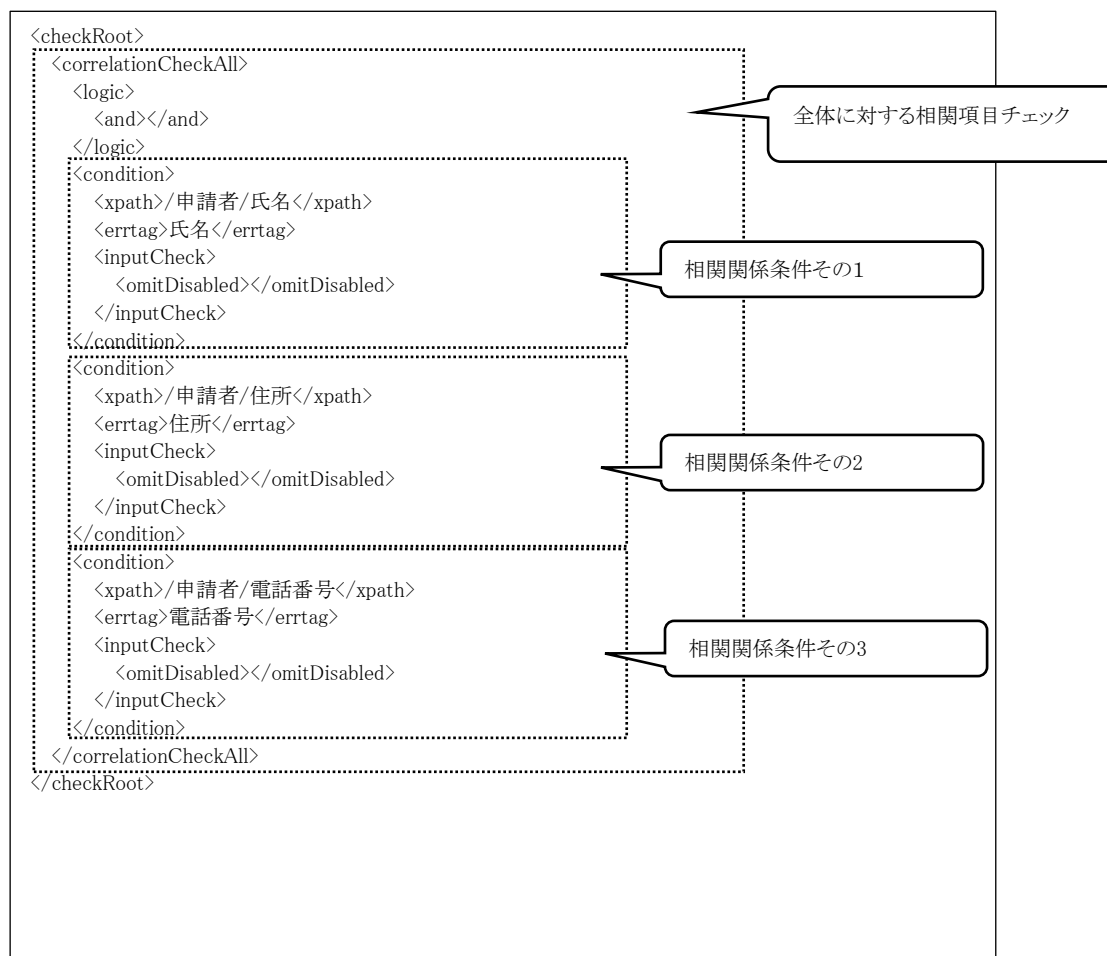


3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

イ. 論理積チェック

「氏名、住所、電話番号がすべて省略不可(必須入力)」の場合



3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

(4) 条件必須チェック

/DataRoot/申請内容/車名及び型式/配下の要素(車名、型式)内容に対して、添付書類の条件必須チェックする場合

「車名(省略不可)に”テスト”が入力されている場合、型式は省略不可(必須入力)、この条件を満たした時、添付書類(名称は”テスト申請”)が添付必須」

〈添付書類のチェックをする条件〉

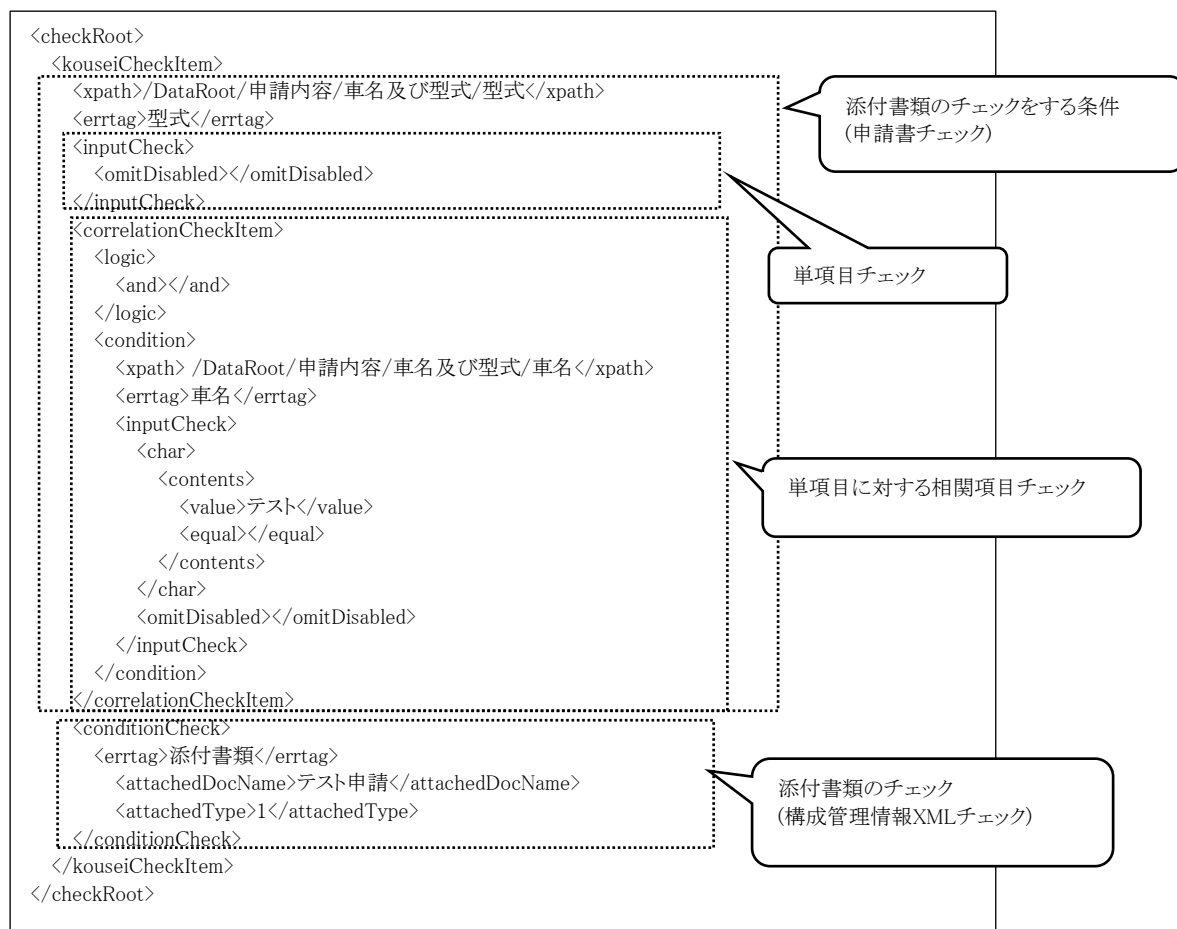
単項目チェック : 型式は省略不可(必須入力)

相関項目チェック : ただし、車名に”テスト”が入力されている場合

〈添付書類の条件〉

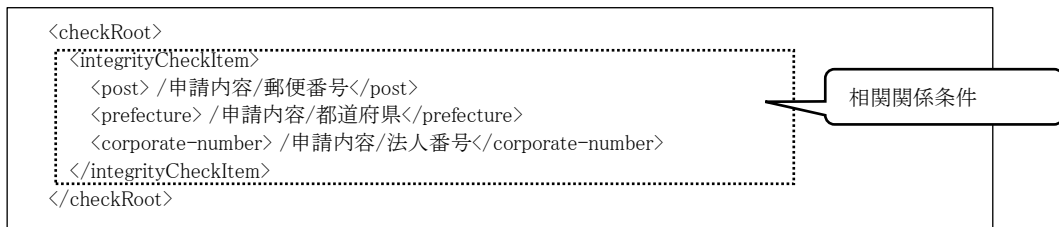
添付書類の名称 : テスト申請

添付書類の添付条件: 添付必須



(5) 郵便番号と都道府県の関連項目チェック

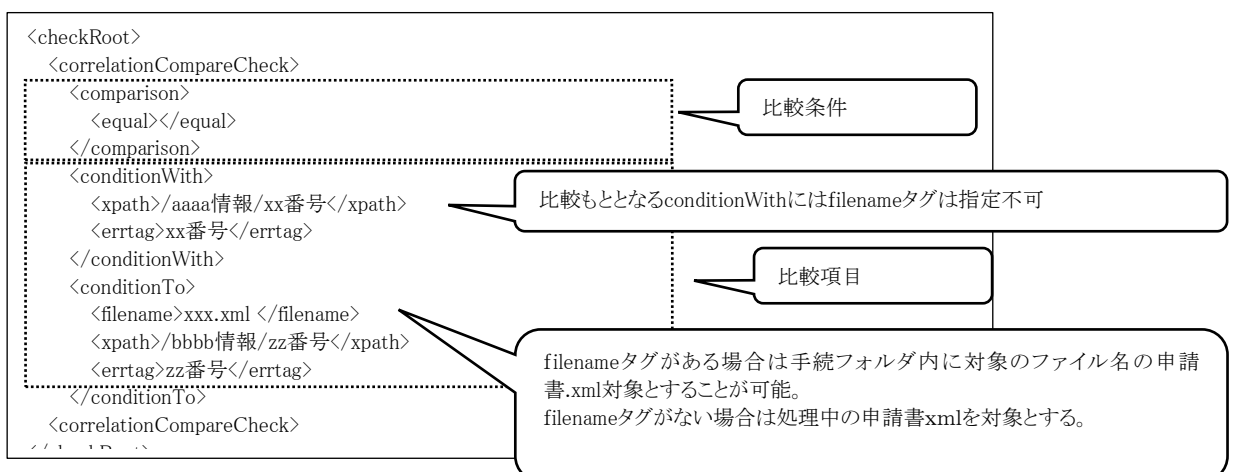
/申請内容/郵便番号/配下の要素に対して、都道府県のチェックをする



(6) 項目比較

ア. 項目一致

/aaaa情報/xx番号/配下の要素と/bbbb情報/zz番号/配下の要素が一致しているかチェックをする場合

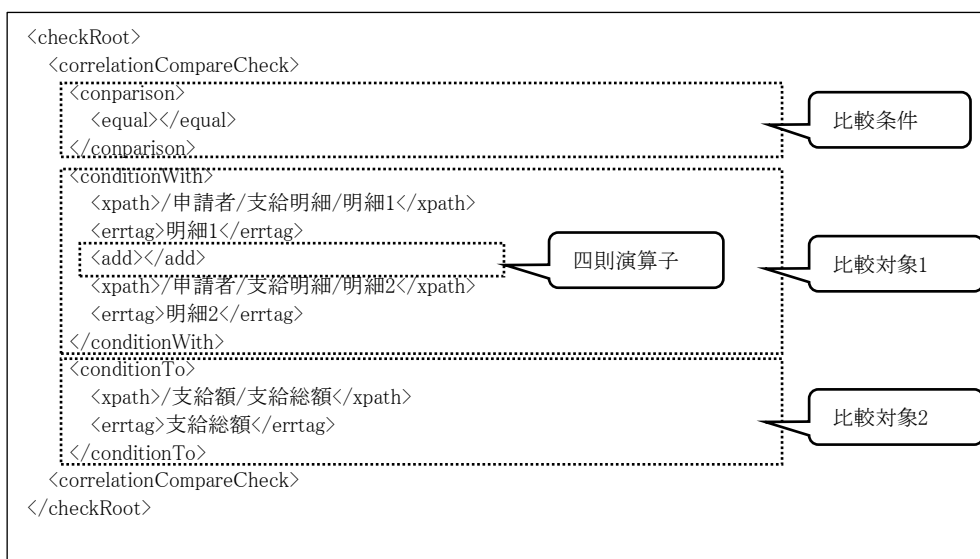


イ. 算術演算を含んだ一致

/申請者/支給明細/明細1/配下の要素と/申請者/支給明細/明細2/配下の要素の合計が、
/支給額/支給総額/の要素と一致するかチェックする場合

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

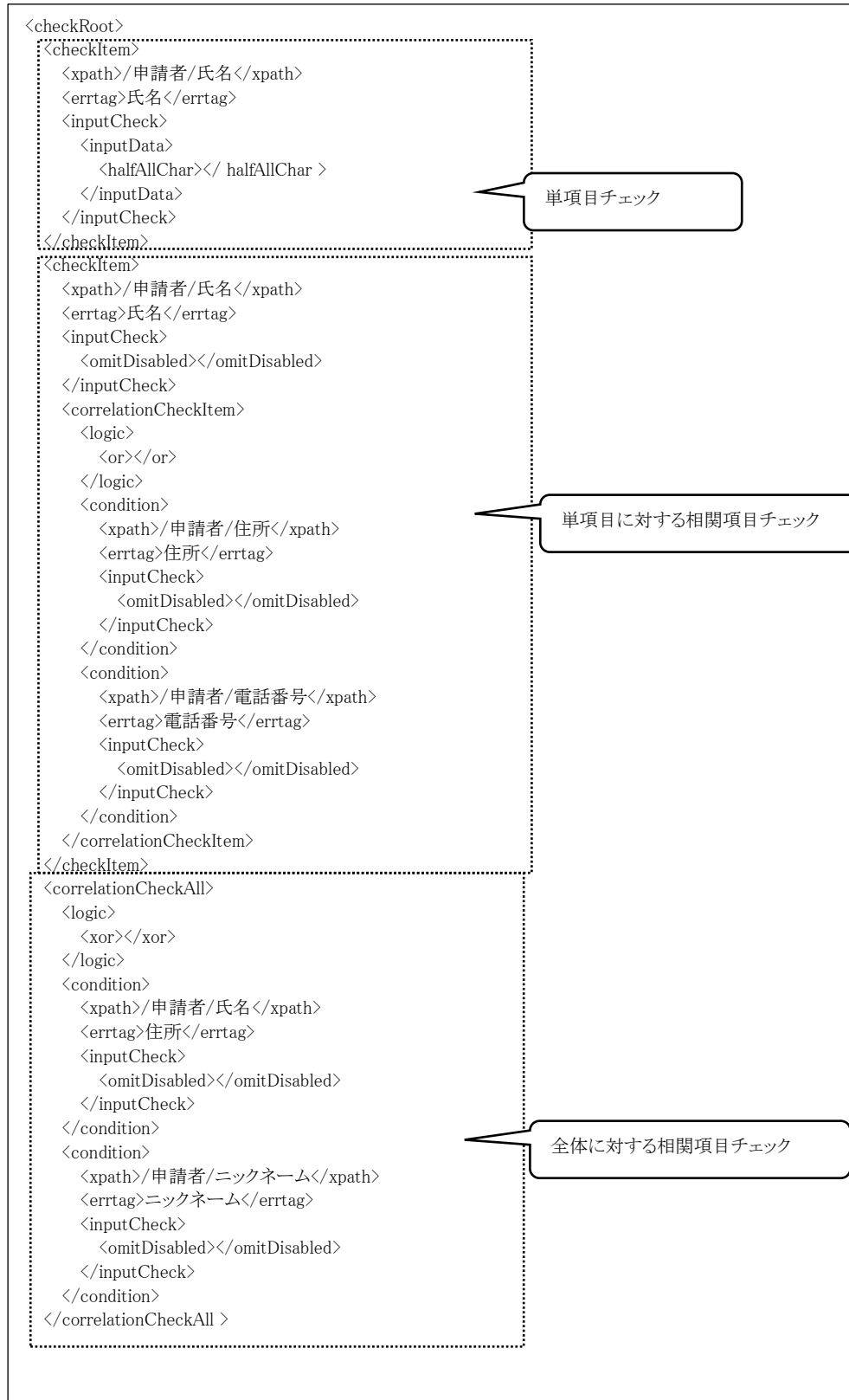


3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

(7) 混在パターン

単項目チェック、項目に対する関連項目チェック、全体に対する関連項目チェック、条件必須チェックの混在を可能とする。



次ページに続く

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック

```
<kouseiCheckItem>
  <xpath>/申請者/住民コード</xpath>
  <errtag>住民コード</errtag>
  <inputCheck>
    <omitDisabled></omitDisabled>
  </inputCheck>
  <correlationCheckItem>
    <logic>
      <and></and>
    </logic>
    <condition>
      <xpath>/申請者/資格</xpath>
      <errtag>資格</errtag>
      <inputCheck>
        <char>
          <contents>
            <value>甲</value>
            <equal></equal>
          </contents>
        </char>
        <omitDisabled></omitDisabled>
      </inputCheck>
    </condition>
  </correlationCheckItem>
  <conditionCheck>
    <errtag>添付書類</errtag>
    <attachedDocName>住民票</attachedDocName>
    <attachedType>0</attachedType>
  </conditionCheck>
</kouseiCheckItem>
</checkRoot>
```

条件必須チェック

3 形式チェックルール定義仕様

3.1 形式チェック
